

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-141)、  
廃棄物管理施設(116)、MOX 燃料加工施設(2-95))」

2. 日時：令和6年1月24日(水) 10時00分～11時45分  
16時00分～17時05分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎  
主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他7名

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括

富士電機株式会社

インダストリー事業本部 原子力・放射線事業部 MOX プロジェクト部主査

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 部長

#### 5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年1月12日及び1月23日提出資料に基づき、申請対象設備に係る具体的な設備等の評価(耐震設計に係る事項)及び設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の評価のうち耐震設計に係る事項については、まずはグローブボックスを例として設計の目的やその構造上の特徴を関連する要求事項全体を通して整理し、その内容に応じた耐震設計に係る評価として整理して説明する。
- ・設工認申請の対応状況については、入力地震動の算定に用いる地盤モデルの検討内容をグループ単位で段階的に説明するように整理する。

#### 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

## 7. その他

提出資料

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

- ・ 令和6年1月12日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和6年1月23日

「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁のカミデそれでは日本原電とのヒアリング
0:00:06	を実施します。
0:00:07	本日は、令和4年12月26日に申請のあった再処理施設及び管理施設、また、令和5年、
0:00:17	2月28日に申請のあったMOX施設の設工認申請について、
0:00:24	昨日ですね、1月24日、及び、1月12日の提出資料に基づき事実確認をする。
0:00:33	です。
0:00:34	まず出席者ですけども、規制庁側から、本庁側から、方のハバサキカミデ。
0:00:41	ウェブから技師の古作調査官長谷川管理官となっています。
0:00:47	では、原燃の方からまず出席者の紹介だけお願い
0:00:52	はい。
0:00:54	日本原燃事務局の中浜です。
0:00:57	日本原燃の出席者紹介いたします。
0:01:01	結局、
0:01:03	ノモト、
0:01:04	イシハラ、
0:01:05	ヤマダ、
0:01:06	あと三菱重工業様よりサトウ様。
0:01:10	富士電機様よりイソヤマ様。
0:01:13	ウェブからの参加で、イトウ、
0:01:16	及びMOX再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:22	出席者以上となります。よろしく申し上げます。
0:01:26	はい、規制庁神谷さん。
0:01:29	午前中は共通12の耐震の特に記念のパートということで、共通12自体を先週もヒアリングをさせていただいたんですけど、
0:01:41	少し細かい技術的なところを確認したいということでちょっとお集まりいただいていますので、冒頭にちょっと管理課の方からお話したいということで、
0:01:51	長谷川さん申し上げます。
0:01:53	橋田です。おはようございます。今日空が
0:01:58	連絡して開催していただいたんですけどちょっと諸事情があって、対面でできなくなって申し訳ありません。基本的にはMOXのグローブボックスの
0:02:12	間、構造設計は耐震設計についていろいろ話を聞き、

0:02:19	ちょっとですね。
0:02:21	説明がどうも我々が、
0:02:26	思うような説明をしていただけてないようなので、いろいろ資料もばらばらとめくると、
0:02:37	うんうんうん。
0:02:39	実際にいろいろ
0:02:41	理解しているのかどうかとかそれから何を説明したいのかとか。
0:02:47	そういった基本的なところが、ちゃんとできているのが、
0:02:55	疑問に思っているので、今日は
0:03:00	実際に解析を行っているフジイ電気とか、全体、小、
0:03:06	基金の方を全体的にサポートしてる三菱重工も来ていただけるっていうことなので、ちょっと原点に立ち返る。
0:03:19	我々とそう、相互の理解を図った上で、細かい、この解析モデルなりのはなCをしていずれにしる、
0:03:31	全体的にこう、こういう説明を最終的にしてもらいたいとか、
0:03:37	そういうところに、徐々2Dで今日は多分問題の確認ぐらいですね、終わっちゃうと思うんですけどもちょっと低迷ですね。
0:03:47	一番、
0:03:49	上流にさかのぼって、基本的なところから、
0:03:53	お伺いして、
0:03:55	相互理解を図っていききたいとそんな主強いですけど
0:04:00	原燃の方は大体その趣旨で、
0:04:04	多分今まで此花Cが原燃のSteeringチームの中で、掌握できてなかったんじゃないかなっていうところ。
0:04:15	招集をしたんですけど、いかがですかね。
0:04:19	はい。日本原燃決得でございます。ご指摘の通りですねまず、我々Steeringがですね木炭1のところちょっと十分説明しきれてないところ、
0:04:30	十分把握して、原燃内を指導していたかというところという状況ではありませんでしたので、今回Steeringとしまして目算としてのイシハラと、耐震のノモト、
0:04:42	いうのを、も参加さしていただきまして
0:04:46	我々が一体何を説明しなければいけないのかといったところをちゃんと理解して、それに基づく資料なり説明ができるようなところのキックオフというか、原点の立ち返りのポイントにしたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。以上です。
0:05:01	はい。規制庁の長谷川です。それで具体的に、私が

0:05:07	いろいろ担当から話を聞き、資料をちらっと見たところで、最も気になったところ、まずはその辺からスタートしたいと思うんですけど。
0:05:19	まず、今日は、
0:05:22	Sクラス施設等、
0:05:25	Bクラスの施設、これMOXのグローボックス二つあるんですけど、基本的にはSsの、
0:05:34	中心に話すということにしたいと思いますけれども、まずは通常グローボックスの設計っていうのは、
0:05:44	単体であれば失点系モデルなりで、
0:05:49	簡易的にやってっても、
0:05:53	問題ないし、ましてやナカノ内装する機器については、基本的に重量を受振
0:06:04	一位が真ん中、分かればいいし、わかんなければ、基本的にはちょっとトップヘビーな形にして、
0:06:13	自然に重量を入れ込むだけで、あんまり機器の部分っていうのは、
0:06:19	重量だけで剛性みたいなものはあまり気にしなくてもいいようなものだったんだけど、FEMでかなり
0:06:28	何とかさん、
0:06:30	モデリングをしっかりとしようみたいなところが見受けられるんで、この辺の考え方が、数井って何かよくわからないなど。
0:06:40	やっちゃ駄目っていうことではないんだけど余りに詳細にやっていると。
0:06:46	自分たちが何を設計したいのかが、
0:06:49	何をしたいのかがよく見えてこなくなるんでその辺を危惧していますと、その器具の方している部分が、結構顕著に表れているのは、
0:07:00	優秀キーみたいなものを、
0:07:04	説明、資料の中に入れてたんですけど、その一次固有周期が機器の固有周期が一次ですというふうになり、
0:07:15	もうほとんど機器のところが出てるんですね。設計はグローボックスを設計したときに、時キーのこういう周期を、
0:07:26	それは当然、一次で一番入れるようなところが、FEMで機器まで考慮しちゃったらいろんなところのモードが出てきてしまうんですけど、
0:07:35	そういう意味で、何を、
0:07:38	説明したいのかっていうのが、余りにも
0:07:43	緻密なFEM組んでいた結果、何か出てきた結果だけ羅列したもノーになってしまっていて、

0:07:54	何をグローブボックスの設計として、の特にSクラスのグローブボックスの設計として何を見なきゃいけないんだっていう、
0:08:05	その結果、正しい言いなり、
0:08:10	そういうことが見られるようなモデリングになっているのかとか、そういう部分が何か、実際に近いモデルを作ったがゆえに、なんかよく訳わかんなくなっちゃってんじゃないかなと。
0:08:25	よって説明もままならないのではないかなという危惧があって、今日、
0:08:33	お越し富士電機、伊井もお越しいただいて、その辺から基本的なところを
0:08:43	聞いていこうということなんです。
0:08:46	私の方からは以上ですけど他に、浜崎さんなり、カミデさんなり、何か付け加えて、
0:08:53	これから富士電機なり、元に説明させるということでお願いします。
0:08:59	はい。神です。今の話からですけど、まずはSクラスのグローブボックスって話なんですけど、結局モデル化の考え方みたいなところですけど、内装機器までも出るし、
0:09:10	しても、
0:09:11	モデル化している内装機器の耐震クラスは、
0:09:15	Sもあって、もうBCだけ。
0:09:21	うん。
0:09:22	はい。まずBCだっけ。
0:09:24	Sクラスの
0:09:26	その中にBC機器があって、白血球エミダテ
0:09:32	いうふうに、はい。
0:09:34	すいません。規制庁の長谷川ですけど。本当に、機器はSクラス内のところだからポイントなんですけど、
0:09:44	基本的には目標グローブボックスっていうのは、メンテナンス用とかで、ほとんどが
0:09:53	機器で、とじ込み機能なりを持ってるような気がするんですけど。ただしそれが開放型で何キロも臨界を
0:10:05	気にしないといけないような量を取り扱ってるところだけは、開放型になってるところはグローブボックスで閉じ込めを担保してる。
0:10:15	だからこのグラフ、
0:10:18	求めてる数になるべく性能というのは閉じ込めなんじゃないかと思うんですけど、なぜDC倉数の機器に対して、グローブボックスがSクラスになってるのかっていうのが、
0:10:31	何か、

0:10:32	最初の許可の話なんですけど、よくわかんないんですけど、
0:10:39	上西長谷
0:10:40	におっしゃっていただいたように、ちょっと最初のグローブボックスともそのグローブボックスで、
0:10:47	過去もいろいろ話があったので、
0:10:50	MOXのグローブボックスの中に一基入ってますけど、基本容器を粉末、粉末缶に粉末を入れて、開放状態要は蓋がついてない状態でいろいろ、
0:11:01	扱うところもあるので、バウンダリの境界っていうかどし込みのいわゆる境界を、一番有井がグローブボックスになっていると。グローブボックスの境界をSにしてそこを耐震上も耐えると、
0:11:14	ということが、もともとを基本として、
0:11:17	おっしゃっていたように再処理の場合は、グローブボックスになって入ってる機器が会計に繋がってたりいろいろ、それ自体が閉じ込めのバウンダリになってるので、前のグループさんメンテナンスとかで使うために、
0:11:29	二次バウンダリーとして設計している。
0:11:32	なので、機器はSだけど、グローブボックスは、
0:11:36	Bだったり、ビーカコウSSだったりっていうパターンもあると思うんですけどその辺が、
0:11:42	結がどちらかというと、一番大都市のグローブボックスの、
0:11:46	閉じ込めの境界としての耐震上の考慮ということで設計をしているというのがコンセプトだった気がしておりますはい。
0:11:55	ミツハシハセガワですけどだんだん思い出してきたのがもう機器は壊れてもいいやと。
0:12:02	ということで、閉じ込めはそんなに多分容量がマックスで、どのくらい使ってたんだっけ。相関が
0:12:12	二つとかが同時に動くぐらいなのでそんなに量は、
0:12:17	ちょっと何キロで6ヶ所が出たりか答えられたっけ。
0:12:26	日本原燃井戸ですけど、ちょっとこちらでも確認いたします。
0:12:33	はい。規制庁の長谷川ですこのぐらいちょっとぱっと答えられるようにしてもらわないと、結局グローブボックスの中で、
0:12:41	何キロ使うんだっていうところの理解だと思うんですよね。
0:12:47	なのでこれが多分スタートなんだよね。
0:12:51	なのでそこぐらいぱっとこういかないと、そうですねそれが多分、そのキロ数がSなんだよね。
0:13:01	少量ではないっていう。



0:13:04	そういう古藤でしょ。はい。だから機器にはもうとそそれこそそんなに甘アノ期待していなくて、大地震には期待していなくて、
0:13:14	ぶちまけるのが前提なので、
0:13:17	ということだよ。そうすると何十キロか使うのに、臨界はないとしても、そっから、
0:13:25	閉じ込め機能っていうことは、グローブボックスの中で最も弱いバウンダリーはどこかと、うそコウで、
0:13:35	耐えられるかどうかっていうのが基本になってくるっていうそういうことなんだよね。
0:13:44	でいいですか石原さん。はい。大丈夫です。はい。
0:13:47	そうすると、結局そのバウンダリーがSクラスに対して健全化が、になってるかどうか、確認できるような、
0:14:00	モデルであればいいってことだよ。
0:14:05	そうですね。はい。
0:14:06	はい、わかりました。じゃ、続きをお願いします。
0:14:10	はい。規制庁加茂です。その上で、側がSですねと。中身は増えるし、
0:14:16	いう中でじゃあどういふふうにモデル化していきますか。単純に言えば失点系で簡単についていう。
0:14:23	こともあるんですけどそれはどういう考えで今回のPMを採用しているかというところを説明し、
0:14:34	原燃、山田です。
0:14:37	ブロックですけども、ご承知の通り骨組み、梁柱の骨組みで
0:14:44	いた二つのイダですとか、あと操作用の
0:14:49	樹脂製のパネルがついているが、箱型の構造なんですけれども、
0:14:53	こういったものを失点系に置き換えるというよりかは、なんですか。
0:15:00	複雑といいますか、
0:15:04	そういう箱型の構造物ですので、FMというか、という形にさしていただいております。
0:15:16	規制庁の長谷川ですけども、そういう説明になってない。なるほど。はい。
0:15:20	それとあと内装機器もそれなりにモデリングしちゃってますよねと。はい。
0:15:28	グローブボックスの、別にねグローブボックスFEMで組んでもいいんだけど、どっかに仮想して作って、そこに
0:15:38	出店だけ失点とか重量だけ組み込めばいいのに、そんなふうにもなっていないっていう。
0:15:44	所詮BCクラスのものなのにと。

0:15:48	そういう総合的なところが、何をしたいからFDMでやってるんですって そういう説明してもらいますできなければ、やって、
0:16:02	皆さんが説明できなければ
0:16:03	はい。
0:16:07	藤元気の磯山と申します。
0:16:10	城衛藤今回ナイトウグローボックスの、
0:16:14	内装装置ですね、基本的には機器。
0:16:18	申請用エントリーされた機器ごとに、おっしゃる通り細かくかなり細かく、 英語で浮かして、
0:16:25	なぜモデル化していけるかっていうところなんですけれども、
0:16:30	内装機器といっても、ブローのように、ゴロッとしている機器ではなくて、
0:16:37	コンベアとかに足がついていてグローボックスしてるってところで、 基本的にはフレームコートのところは、支持構造物としてちょっと強度を 確認したいというのありまして、
0:16:51	結構細かくモデル化をさせていただいて、
0:16:55	それで、
0:17:02	それで実際は実際には 5、
0:17:05	C、ナイトウの金それぞれ覚悟であれば、おっしゃる通り、知ってるモデル 1本立てれば、
0:17:12	いいんですけれども、それをするのも結局はFEMで、
0:17:16	訓練を確認して動いているということ
0:17:20	正直ちょっと合理的な方法ということで、どうせFEMそれぞれ内装区分 であれば、グローボックスリストに、
0:17:28	解析して、全制定時、コウというちょっと、
0:17:34	スタッフで、
0:17:35	今回、かなり細かくチェックをさせていただいているという状況にあります。 す。
0:17:43	規制庁の長谷川ですけれども。
0:17:47	別に失点系モデルでやれと言ってない。
0:17:50	だけれども、仮にFEMで、フレームをFEMでやりましょうといったとき に、対象機器はBCクラスなわけだから、
0:18:00	内装機器をそれで合わせて、何かしようっていうことでは決して、
0:18:07	ない設計のはずなんですよね。だから内装機器は知ってんだっけ与え ればいいではないですか。
0:18:14	例えばあとは、そこに剛性を期待したいんだと、レールみたいなものが 敷かれていて、そのレール分の剛性を期待したい、したいんだったら剛 性を期待する。

0:18:26	部分は、FEMのモデルに入れるんだけど、大きな核燃料物質を入れた容器なりそういうものっていうのは出店だけで与えても、
0:18:38	いいと思う。で、もし、
0:18:41	これが動き量を持つようなモデルをするとすると、その動き、要するに相互作用も、確認をするんですというそういうスタンスになるんだよね。
0:18:53	だから、グローブボックス全体に対して、中野衛藤。
0:19:00	柿木の動きが、との相互作用を踏まえた設計をするというそういうことまで、設計しようというそういう思想が入っているんですが、ちょっとその辺りもちょっと教えてもらいます。
0:19:20	うん。だからすごいやない。
0:19:21	そこ。
0:19:23	元ノモトでございます。ちょっとちょっとすみません私から申し上げて申し訳ないですけども、
0:19:30	えっとですねこの設計の考え方として、社長以下グローブボックスをSとしてバウンダリを
0:19:41	を守ることを説明しなくてははいけない。それから内装機器については、波及的影響としてこのバウンダリに影響を及ぼさないかということ、我々、評価しなくちゃいけないと。
0:19:54	というのが基本的なコンセプトです。
0:19:57	この基本的なコンセプトに立ったときに、その内装品については、これをですね、壊れないということで、波及的影響を及ぼさないと。
0:20:12	いう形で評価したいんですけども、内装品には、ブローのような、割と失権
0:20:21	だけで表現できるのはプロットしたものと、それから、このグローブボックスの中で課題を組んでしまっているがために、中ですね、応答をするような構造のない商品というのもございます。
0:20:38	この中で、応答してしまうような内装品が、地震を受けたときに、破損しないということをしようとすると、ナカのものについても、応答解析をやらねばならんと。
0:20:52	ということになると、いうことでございます。
0:20:55	その時にですね、このですね、川野小黒ボックスとナカノ、ガダイはですね、これも一緒に解いてしまった方が、
0:21:05	我々設計上の便宜も図れますし、それからですね、さっき藤管理官がおっしゃったような、揺れるもの同士の相互作用というの、もしもあるんであればそれで表現できますので、
0:21:17	この下、一緒の一つの形でモデル化していると、こういうコンセプトになっているということでございます。

0:21:26	これで磯山さん。はい。はい。
0:21:31	規制庁の須賀ですけどそこら辺は大体わかってるんですよ。そうなんだろうなと思ってわかっていてその通りだと思っていますと、多分、
0:21:41	この壊れないっていう、野本さんが言った内装機器の話なんだけれども、相互作用的には多分壊れないっていうのは応力なりで、
0:21:51	の話で
0:21:53	アースが飛んでったり何かとかっていうのとあと、変形で当たるっていうのがあるんですよ。
0:22:00	なので内挿切ったの応答この連成系も含めた、要はどこまでモデルの詳細をするすると、
0:22:10	正しく出るものとそうでないものっていうのを、ちゃんと見極めていかないといけないんじゃないですか。
0:22:20	なので、そうすると一つ一つグローブボックスっていう、うん。あれかな、グローブボックス多分すごいいっぱいあって、内装機器も分含める。
0:22:32	全数やらなくちゃいけないかな。
0:22:35	くると思うんですよ。なので全体の類型化とかみたいなものとかそういうのを踏まえると、必ずしも合理このやり方合理的かっていうところに関しては、いかがですか。
0:22:51	日本原燃山田です。すいません、おっしゃった通りグローブボックスの数ってすごく多いんですけども、すべてがやけ、全く同じ構造か。
0:23:02	おんなじ大きさサイズかということもちろんそうでもないですし、あと内装の機器取り付け、
0:23:09	部材等もそれぞれ違ってくるものもありますので、
0:23:14	なかなか
0:23:17	代表に類型化して、
0:23:21	違う。いや、今言ったから遠征で解こうとしたときに、もともとそれぞれグローブボックスのボックスで出てきたいうか何かを聞きに与えて、
0:23:34	というやり方の、それは一つのパターンですけど、衛星でとった時にそれぞれの中に入ってる機器の相互影響とかいろんなことを考えると、
0:23:43	パターンが増えませんかというふうな、
0:23:46	言われてるのは1タブチオガセはハセガワで基本的には全数やらないといけなくなっちゃうよね、考えてやってるよねっていう考え方で、全数かつ、
0:23:59	核燃料物質の量が、の少ない大井が関係してくるようなところだとそれも含めて、
0:24:09	やらないといけないという、要するに、何か包絡的にできるような物の考え方っていうのが適用がしづらくなってくるんじゃないかと。

0:24:19	結果的にもものすごい量を、我々もものすごい量の細かいところまで確認しないとイケなくなっちゃうんじゃないかなっていうそういう話です。
0:24:45	どうやるべきかっていうの考え方に、
0:24:48	結局、
0:24:51	代表によって今回、類型化して、代表を選んでやるっていうのが、全体のコンセプトなわけですよ。はい。その考え方に沿っている。
0:25:00	やり方でどう、どうあれでキタノけど、ちょっと考えているのがございません。
0:25:06	コサクです。
0:25:08	類型だからこうしなきゃいけないとかっていう発想はちょっと前後関係としてはおかしいと思っててですね。
0:25:17	現状でもう、別FEMの中に、要求上入れなきゃいけないようなものであれば入れればいいし、
0:25:26	そのときに、どういう特徴があるのかっていうのを分析整理をして、
0:25:32	同様の傾向であれば、その特徴的なものを
0:25:38	一つ一つ説明すればいいのであって、これであっても累計は可能だと思います。
0:25:45	ただ、その分析をしてくれないと、そうですね、分析できません全部見てくださになっちゃういますよっていうことだと思うんですね。現状だとそういうことをやっていただけないような感じがするので、今日お話をしたいと。
0:25:58	いうことだと思うんですけど、そもそもFMIにどこまで入れますかっていう話は、最初の方に管理官からもあったように、そもそもそれぞれの内装機器なりにどういうことを求めているのをどういうことで設計をしようとするのと、
0:26:13	いうことであって、
0:26:17	連成でとっかなきゃいけないような指示の仕方をするんですとか、揺れた形で、中に入れ、
0:26:26	ておきますというコンセプトであれば、こういう形での設計になるしと。
0:26:31	いうことなので、その入口をまずちゃんと整理をしましょう。
0:26:35	共通 12 で言えば資料 3 のレベルでちゃんとそのまま。
0:26:39	設計コンセプトを示してもらわないとと。
0:26:42	いうことで、モデル化、一緒に組むのであれば、
0:26:46	グループクローブボックスの設計方針というだけじゃなくて、内装機器の設計方針も必要になるし、その相互作用についての設計方針も出るしと。

0:26:56	というのがまず最初ですよっていうのを片付けていかないとですね、FMどっこっていうのに先行しちゃうとよくないと思います。
0:27:05	とりあえず以上です。
0:27:08	はい、与儀西浦でございます。ありがとうございます。前も、
0:27:12	全体のコンセプトがよくわからんと、いきなり細かい話をして、
0:27:16	今おっしゃっていた資料3との関係を前いただいたご指摘の中にも、
0:27:21	資料3では閉じ込めと耐震ですね
0:27:26	閉じ込めの
0:27:27	機能として期待するものだったり、耐震の構造強度の部材として期待するものが何かみたいな話をしていて、
0:27:34	それが、そういうものに対してはどう、モデルの中で考えますかってところの考え方が全くないまま、
0:27:40	重量で深瀬、これは徐々に付加します。これはモデルの中に入れますみたいな答えを書いているところは、全体の多分入口のコンセプトがちゃんとなないというところで、
0:27:51	モデル部分であればモデルで考慮しなきゃいけないっていうのをちゃんと、資料3の中で設計上の考慮みたいなことをちゃんと書いていくと、いうことが一連の流れになるんだろう。
0:28:01	いうところは整理をちゃんとしないといけないよねっていうところは認識は一致しております。はい。
0:28:07	大丈夫ですか。どうぞ。
0:28:10	いいですか土佐空の鼻Cは、その通りで、よって今回グローブボックスしか申請されていなくて、中の機器っていうのは重量ぐらいは実際の設計でしようがないと思うけど、
0:28:26	中の機器の説明がないのに、モデリングを
0:28:31	何て言うのかな。要は相互作用解析してモデリング、その応力もみたいになってくると、そこの申請もいるんだよねっていうんで、
0:28:41	そこの申請した中身が担保できてないと、グローブボックスの設計の、我々処分できない、なくなっちゃうんでそうそういうところも、
0:28:52	埋めて、どういう。
0:28:55	コンセプトになってるのかっていう説明が、
0:28:59	現時点ではいるんじゃないかなっていうのもあるんですよ。
0:29:04	ていう、まあ、このコサク言ったこと基本的には一緒なんだけど、あと、浜崎さんお願いします。はい。議長すいません。規制庁亀井です。今の話ですけど、内装機器だけ工事ってなってないんですよ。今回の資料はパッケージで申請されます。はい。はい。課長。
0:29:22	はい。規制庁浜崎です。先ほど管理官から発せられた、

0:29:27	問題ですね問題意識、二つ。
0:29:29	グローブボックスの設計思想として、なぜ出店系じゃなくてフレームにするんですかっていうところ。
0:29:35	それともう一つは類型化の話、二つありますと。
0:29:39	最初の質問に対しては、原燃の場合これ建設時からグローブボックスはいるんで、
0:29:46	基本的には評価してますよね。で、
0:29:49	これは先ほどの話があったように、グローブボックス本体と内装機器の連成を、
0:29:56	効果を相殺効果を考慮するためですと、本当かどうかわかりませんよ。
0:30:01	うんそう。それに対処する。
0:30:03	全部含まれてるのが壊れたのかっていう確認しなきゃいけない。
0:30:07	でも、多分そういう相互作用の話。
0:30:09	それと、設計書を一体として解析することによって、決まっています設計がやりやすいと。
0:30:17	いう判断のもとに、FMを使ってますという回答がまず
0:30:23	原燃があるかなと思ってたんです。
0:30:26	そ、そういう回答をなくして、何か支店系統の差異化っていうのがわからないっていうのが一つ。
0:30:33	で、その上でですね。
0:30:35	グローブボックスって、計算書を見ると、大きく5パターンぐらいなんですよね。
0:30:41	で、
0:30:42	それぞれの特徴を踏まえて、それは構造的に死亡パターンやってな、内部の精度も含めてまだ上がるかもしれませんけども、そういう既存の、
0:30:54	元計算、他、申請対象のグローボックスを累計、それをわかる。
0:31:00	その中で、今回のこの資料の中では、
0:31:03	夫馬通一番措置のプルボックスしか出てないわけで、何でこれが類型化の代表になるんですかっていうのがわからない。
0:31:13	その説明がなくて、これだけしか出てない。
0:31:16	だから、順を追ってまずグローボックスの設計思想はこうですっていうのをきちんと示してもらいたい。
0:31:22	その次に、類型化で、グローボックスをこれから説明するにあたって、これがなぜ対象になるのかというところ。それは、先ほど長様に言ったように、こういうパターンもある中で、
0:31:32	こういう特徴に対して我々が確認する目的で、

0:31:36	1個なんか二つ、複数の課ですね。
0:31:39	そういう手順が、
0:31:41	必要だと、いうふうに思ってます。
0:31:44	はい。スタッフ。はい。
0:31:49	でございます。ちょっと今の前半のところですね、少し私の探し方がちょっとミスリードしたかもしれないかなと思ってちょっと少しコミュニケーションをとらせていただければと思うんですけども。
0:32:02	グローブボックス自体の設計を失点系でなく、この梁モデルでやってるというのは、このブログボックス自体が、剛構造ではなくって、
0:32:15	それなりの振動モードを持つ構造であるので、これは出典がユリなく、この梁モデルで、もっと大変になると。
0:32:26	すいません。昨日、ごめんなさい。今の沼尾さんの説明もちょっと飛んでて、
0:32:34	5じゃないものなのでじゃなくて、そもそも5じゃなく設計しますっていう。
0:32:42	ことが、その全体にあるんですよ。で、それはなぜかっていうとっていうのを、
0:32:48	また行った上でそういう石膏じゃない設計にしますになるんであって、飛ばし過ぎなんです。
0:32:57	そこら辺理解していただければと思うんですけど、その上で今いえるようであれば説明してもらいます。
0:33:04	県の方でございます。ちょっと私のお間違いがあればということで、すいませんちょっと会話を重ねさせていただければありがたいんですけども、今おっしゃってるのは、構造として、
0:33:15	5でない設定としたことの根拠というのを述べた上で、この話続けないといけないよねっておっしゃってるん。
0:33:27	だと思ったんですけども。
0:33:29	5じゃないということを目的目標として設計としたということではなくて、このグローブボックスの構造そのものは、
0:33:40	こういう課題的な、こういう構造なんですけれども、できるだけ、この棒に近づけるように、
0:33:50	このこういう新コサクです。はい。はい。
0:33:56	論旨は理解いただいているようなんですけど内容の説明がやっぱり駄目で、現実のグローボックスありきで説明してるような気がするんですね。はい。で、全体として5で設計するというのを原則にしてるんであれば、
0:34:10	グローボックス不能針を全部もっと分ぶつ特すればいいじゃないかと。
0:34:15	サポートもいっぱいつけられればいいじゃないかと。



0:34:18	ということになるわけで、何でそうしてないんですかっていうところがあるはずなんですよ。
0:34:25	そこら辺をちゃんと理解をして説明してくださいということです。はい。
0:34:29	前年ノモトでございます。
0:34:32	ここはだから本体の、そもそもグローブボックスに求める機能を達成するための構造がもともとあって、自信を持たせることだけがこれは目的ではないので、
0:34:44	その目的に、最適な設計として、今の構造があって、あの地震はそれをサポートで支えキロろうと。
0:34:55	いう設計コンセプトでこれは作られているものだというふうに理解してます。ですね。はい。でも、やっぱり足りなくて、
0:35:03	ノモトの機能が最優先であって、
0:35:06	完全従属耐震がいるっていうわけではないはずなんですよ。
0:35:10	それで言ったら、SGの方だって完全住職駄目だっずっとIIIASでお話しているわけで、それぞれの要求事項っていうのをトータルとして満足する設計をします。
0:35:22	ということで、まずないと話は成立しないと思ってます。その上で、どういふふうにコーディネートしていくのかどこを重視しながら、どういう設計、帳じり合わせるのかということの説明が必要だと。
0:35:37	ということなので、実態としてどうかというのはイメージは持ってますけど、県の中でそこを整理をしてしっかりと説明いただくという必要がまずあります。以上です。
0:35:50	はい。安全ノモトでございます。そのバランスの上で、我々設計したという仕上がりとして今の構造ができていうことでは、
0:36:01	ありますので、その考え方自体をお伝えすることはできるんですか。だから、どこの、あれですかね。衛藤。
0:36:12	我々がバランストって言ったかっていうところをちょっと説明していくのはなかなか落とすのかかなと思いつつ規制庁カナイですけど。はい。場所は資料3がツチヤさんのグローブボックスの設計コンセプトの話。
0:36:25	そう。何だろう。説明しにくい。別に閉じ込めを確保する、プラス耐震もしっかりコウでっていうのが、
0:36:35	説明できないんだったら、じゃあそうしてくださいよだけなんですよ。
0:36:40	うん。
0:36:40	普通に設計をして、本5名分、
0:36:43	奥瀬ちゃんと所
0:36:45	強いです。

0:36:46	なんだけど、やっぱり5ぐらいまでコツボさせちゃうと、どうも設計上なのか、運転上なのか、うまくいかないことがあるんですと。
0:36:55	いうことがあって結局、5にはできないんだけど、Sクラスにはもつように設計してるんです。そこで落とすところも持たせましたっていうことだってあるんであれば、
0:37:06	そういうことをちゃんと市長さんのところ考え方を示すという感じですよ。
0:37:13	権限のものでございます。イメージがわかった気がいたしますし、後、
0:37:22	目指してやるっていうのは我々の方針として示しておるところではあるけれども、当グループを馭を果たす上で、こういう構造であることは不可避であってそれを、
0:37:36	仕上がりとして、このような構造になっているので、あとはサポートでこれを持たせるようにする設計コンセプトでやりますといったような考え方を、資料3のところ、
0:37:48	こんなイメージを私、申しました。イメージやっております。サポートでっていうことでもないです。
0:37:55	大体大丈夫です。
0:37:58	今もちょっと、以前からその点をご指摘いただいているので、蒔田つつあったんですけどもまだちょっと足りてないところがあるのかと思います。
0:38:08	はい。思います。
0:38:12	規制庁の長谷川ですけど、今の話はそれでいいんだけど、結局このグローブ、グローブボックス多分閉じ込め機能だとすると、前面のパネルルート下の層、そういう部分。
0:38:26	だと思っんですね。結局、どこを重要視したいのかっていう、
0:38:32	その後とか何だかって実際多分設計するときって予備的に何かやると思っんですけどこれ最初っからFEMで解いたの。
0:38:40	そそれFMが決して駄目だとかじゃなくて、設計ってどうやってやってたんですかっていうところを聞きたいんだけど、それと解析との関係っていう、
0:38:51	多分それが多分、本当は一番第一位なんだと思っんだよね。
0:38:57	このグローブボックスって設計を、どういう概念でしてたところでそれを多分モデリングしてチェックしたっていう
0:39:04	そういう世界が、御説明が本当は、
0:39:08	欲しいなと思っんですけどね。いかがです。
0:39:18	富士電機の磯山です。
0:39:20	ブログ
0:39:22	複数の設計としてはまず、

0:39:25	これはJボックスのグローブボックスっていうのは基本的には、中に燃料と比べますと、取り扱う装置が真ん中に設置されている、その装置。
0:39:39	その自治体に気密性とかを閉じ込め性を持たせられないので、その装置を覆うように、ブロックボックスをつけるという形にしておりまして、
0:39:49	グローブボックスの閉じ込めっていうのは一番重要な機能とはなるんですけども、一方で、閉じ込めたまま、何かの機会をメンテナンスなきゃいけないっていうのも、
0:40:02	大きな機能として持ってまして、そのためにブロック、
0:40:07	ボックスという名前と2グループのついた、実施担当名の自主パネルをつけてるんですけども、
0:40:13	やはりパネルのところが、秘密を取る重要なところでありまして、その構造は今までの実績ある構造から変えられないということで、
0:40:25	パネルの構造、あとそこに、
0:40:28	谷をつけるフレームの形っていうのが、基本的に決まってしまう。
0:40:33	基本的にやっぱり、
0:40:36	という形で、あとメンテナンスするためには、
0:40:40	無料。
0:40:41	パネルグループからなきゃいけないんですけども基本的に中にある、その地域、
0:40:46	に対して、
0:40:47	手を届けなきゃいけないので、基本的に奥行きというか幅ですね、あれが大体決まって、人間の手の長さで決まっちゃいますんで、大体1メートルぐらい。
0:40:58	というのが決まって、
0:41:00	幅が制約されてしまうと。
0:41:06	で、ナカニシ会は、それなりなきゃいけないっていうとそれで、後、設計をするってなると、
0:41:13	柱がどんどん太くなっていってしまうんですね。そうすると、今度、
0:41:17	ナカの機械に入れるスペースがどんどんなくなってしまうっていうことで、あまり柱を太くできない。
0:41:26	だけど、
0:41:27	じゃあ、全体から大きくすればいいかってなると、顔も大きくすることができる
0:41:32	あと、
0:41:33	前方面、サポート等で補強するって、そこに人がアクセスするので、
0:41:39	そのパネル前に物を
0:41:41	あんまり、

0:41:45	丈夫にする剛性を上げるという手段があまりとれないので、その中で、大きな機械を入れなきゃいけないとなると、どうしても合意しきれないということで、
0:41:56	10 構図で中構造になるとなると、IBMで特殊か。
0:42:04	オクノが最適であろうということで、前黒須様。
0:42:09	基本的には今、FEMで、
0:42:12	評価しております。
0:42:21	うん。規制庁の長谷川ですけども、まあまあそういうことなんだろうけど、結局、
0:42:28	いや、ここの話としてはもうFEMありきでもそれは吉年しましょうと、グローボックスに関しては、
0:42:38	あとは、さっきの野本さん、
0:42:43	誰が説明したところをしっかりと、
0:42:47	やってもらうということになったのかな。
0:42:52	ただ機器の話っていうのはまた多分別に別途あるんじゃないかっていうそういうふうな気がしますけれども。
0:42:59	コサクです。補足すると、グループボックスの数、設計の大枠の流れっていうのは今、富士電機の方から言われたところだと思うんですけどその辺りも、
0:43:11	多少この説明としては少しは向け部分もちょっとか表現は拡充してねって思うところあるので、今後整理されたところでまた議論できればと思うんですけど今管理官の言われた機器はっていうところでいうと、
0:43:25	今まだグローボックスの側の話なだけなので、内装機器はって言ったところとの関係性っていうのはそのあと続いてきて、
0:43:35	衛星でとかなきゃいけないというような設計にしますということであればそれも同じようになぜっていうのがあって、言っていてそうじゃなくていいものはどんなものですか、それを超えていますよっていう話があったと。
0:43:48	いうふうに一つ一つ積み上げていくということだと理解をしています。
0:43:53	また理念、理解はどうでしょう。
0:43:55	はい。読みイシハラございます。はい。今のやりとりって、理解。
0:44:00	ました。はい。
0:44:01	全体の流れをちょっと作ってですねそれぞれのパーツを埋めながら、全体説明ちゃんとなってるかっていうのもチェックをして、
0:44:09	今後説明させていただきたいと思います。はい。
0:44:18	8 イセちゃうだけですちょっと1点だけ細かい話なんですけど、先ほどの説明に対して、10 だからFEM10 コードからFMしなきゃいけないみたいな話なんで、中構造でも知っていけばいいわけなんです。

0:44:30	ちょっとそこを、やはりそのソヤとか設計上の取り扱いといいますかですね、ニツタ境界、そういった方が後々その処理があつてですよ。
0:44:42	そういった辺りと、その想像もし本当に念頭にあるならば、
0:44:48	他にも、どの来そうと。
0:44:52	設備をモデル化して、或いは少ないものもあるかもしれないんで、そこはやっぱり、こういう考えでこの時は、
0:45:00	すみません、お願いします。
0:45:01	いう、あるべきと思いますんで、
0:45:07	あります。そういうことで、
0:45:11	規制庁の長谷ハセガワですけど今ちょっと答える場合それに付け加えて、このグローブボックスとか内装機器は、FMでも何でもいい、いいんだけれども、これ弾塑性解析等達成解析。
0:45:27	なのっていう、特に大小機器については、もともとBCクラス数でいい話のところ、数にする。
0:45:38	Sの地震動を、解析上受けることになるんで、塑性に入る可能性が高いんですよ。そういう弾塑性みたいな部分も含めて、
0:45:51	多分浜崎さんの話、質問に答えていただけると、直井かなと思うんですけど。
0:46:09	解析としては、安定領域、
0:46:12	3になってるんですけども、許容値としては、供用状態のDですね。
0:46:18	こちらの方でやってる日、
0:46:20	女性を若干許容するような状態でやってますんで、今回内臓装置については、ブロックがベースになっちゃっていますんで、波及的影響ということで、
0:46:34	Ssの地震動を与えた状態で、壊れないという確認。
0:46:40	取ってますので、
0:46:41	PTSの地震をそのまま、
0:46:44	入力して評価を行っている。
0:46:46	いう形。
0:46:49	内装モデルしてるしてないよあるのかって言う、言う話なんです、
0:46:55	基本、図面に載ってるような装置類はすべて支店、
0:47:03	FEMで入るモデル化することもありますし、失点でモデル化する。
0:47:08	ただ、小さいカメラとかセンサーとか、
0:47:13	改善をやるトレイとかですね、そういうグローブボックスとかナイトウにBIG行けるようなものは、基本的にはその部分は質量という形で、そいつを指示してるところに付加質量、
0:47:24	という形で与えて、基本的には、

0:47:27	全十条がFEMモデルの中に入っているような形で計算して、
0:47:35	はい、規制庁浜崎です重量で考慮すると、音声をおる。
0:47:40	まで含めて考慮するのでやっぱり違いが、例えばですね今回秤量器ってあるじゃないですか。はい。これは昔、建設時から同じモデル化でした。
0:47:53	あ、はい、規制庁浜崎です。その辺りがですね、建設時と変えたものと変えないもの。
0:47:59	もし変えられないなら変えない。
0:48:04	そこら辺をですね、ほそ食う説明耐震建物 01、或いは、資料の 3 の方で、
0:48:13	既設工認との比較ということですね、しっかり説明、まだ我々受けてないんで、
0:48:18	説明を今後してもらいたいということです。
0:48:23	はい。
0:48:32	はい。規制庁、深見です。
0:48:34	モデル化の話で、もうちょっとだけじゃ踏み込んで聞くと、
0:48:39	共通 12 で言うと 344 ページなんかに、その重量とかもあって、
0:48:46	内装機器でこれ宣伝モデリングってやつありますよね。これって何なんでしたっけ。
0:48:53	ここは
0:48:55	実際に、
0:48:57	いつも板状の、
0:49:01	ユリスギタが、
0:49:02	構成されていて、そこに昇降するフレームとかですね。
0:49:14	現状のまま、そのまま、
0:49:17	貸しているか。
0:49:20	うん。規制庁鏡さん、それだと他のはっていう風になってなってきちゃって、なんでこれだけそういう処理が必要になってるのかっていう考え方を
0:49:33	そうなんだって言われてるだけじゃ、ちゃんとした説明ではないので、
0:49:38	説明をしてもらってということなんだと思います。
0:49:42	さっきある程度話はされていて、だからこういう場合は、こういう様子でやりますここはもう授業、消防のものは重要ですよ。
0:49:50	このページでもシェルにそのまま授業を与えているものもあれば、ハイカーン管台の授業なんか 4 点に分けていってますみたいなどころですけど、その考え方をプロセスとして、ちゃんと
0:50:04	C、
0:50:06	資料 4 の中で、ちゃんと私です。

0:50:10	ところでお願いします。
0:50:12	あとは、規制庁カミデスカートその内装機器のモデルって、一次内装機器のモード拾っちゃうよね。でも、別にいいじゃないですかっていうのはわかるんですけど、それって、
0:50:26	前提として応答スペクトル解析であり、
0:50:30	基本的にそのFRSが右肩灯である。
0:50:36	いうことであれ、あればっていうそういう前提があって、そういう消防物のモードを数拾っちゃっても、大丈夫なんですよ、そういう考え方ですか。
0:50:54	そうですね、基本的には、そういう
0:50:59	うん。
0:51:08	なんですけれども、今おっしゃっていただいているのは拾っちゃってとしては、
0:51:12	ちょっとそういうところはでも、押さえにいかないといけないんじゃないのかということです。
0:51:19	設置を個別単純にどういうふうに考えて内装機器、やわらかい内装機器も一緒に入れちゃってもいいんだっていう、思ってるのかなというと、単純な質問なんですけど。
0:51:31	終わり。
0:51:36	というのは、やわらかくなるような設計率ができなかったからそれを前提に持つように設計してますっていう、そういうことではない。
0:51:45	いや、規制庁がですね、内装機器の話なので内装機能をどう拾ってるっていうことについてなので、やわらかくなっちゃうから、すぐ関係なくて、
0:51:56	モデル化にこれを入れ、入れた方がより、
0:52:00	ふさわしいのか、実は入れちゃうことによって、非保守側になっちゃうことがあるんじゃないのか、そこをどう考えてますか。必ずアノ入れという問題ないんだっていう考え方がどういう、何に基づいて、
0:52:14	質問でカッチ申し訳ないんですけども表示的になってるんじゃないかっておっしゃってるところの、
0:52:19	イトウを、
0:52:21	もうソフトスペクトルです。
0:52:25	わかりやすく言うと、建物で評価するときに、
0:52:29	耐震壁以外に、
0:52:32	いろいろとあると思うんですけどそれモデル化します。
0:52:37	ないですね。
0:52:38	ウタツカベです。
0:52:48	耐震担保とれとらない。

0:52:51	だから、取らないで設計するんだから入れちゃうと、そこに荷重与えちゃうといけないから、耐震壁だけに荷重を与えたいからですよ。
0:53:01	そう。
0:53:01	絶対壁か、それ、あんたんも取らないところに回収されての荷重をモンマ西来ちゃいけないなんてことですね会社です。
0:53:10	ていうのは、モデル化しちゃうと悪影響が出るってことですよ。
0:53:15	本来見るべきところがちゃんと見えなくなるかもしれないってこと。だからわかりましたノード内装機器が逆にこれが入っているがために、
0:53:26	エネルギー吸収してしまって、楽になるような効果を入れてしまっとうと設計が適切にできないようなことになっちゃおらんかと。
0:53:37	いうことをおっしゃってるんだと理解しました。
0:53:42	カミデですけど、そういうこともありつつ私がイメージしたのは、スペクトルの形と、モード等、あとは刺激係数、
0:53:51	関係であって、
0:53:53	二つ山があり、完全にミキカタカイといいんですけど、
0:54:00	実は菅田井の
0:54:02	振動数の方が固いんだけど山に当たってます。
0:54:05	内装機器はちょっとやわらかくて谷のところでしたって言った時に、その谷のところの刺激係数が大きいわけですよ。
0:54:13	来ちゃうと、
0:54:14	あと重み付けとして谷のFRSすごい取っちゃうんで本来艦隊側にかかっている大きなその短山のところに重みが、
0:54:27	想像して今話をしてみたよ。
0:54:36	やわらかいもの
0:54:38	がしておけば、応答スペクトル解析って、大丈夫なんですよってそんなものなのかなと思って見て、
0:54:46	ございます。
0:54:49	今おっしゃったような二つのFRSのときに、そういうことが起こり得るのはおっしゃる通りで、ちゃんと、
0:55:00	こういう周期なり、あんま構成なんですけども、真実に近い値というのはちゃんと入れておるんであれば、今おっしゃったようなですねやらないのが、単に来たところですよそれそれぞれ正確にそれぞれの
0:55:16	企業っていうのは入れる。
0:55:19	ていうことにはなるんだとは思いますが。ただ、そういう右肩上がりか
0:55:27	出ない場合ですね、問題となり得るのは、その設備の構成って、設計では与えますけれども、実物がそれに全く合致するわけではないわけで、
0:55:38	その



0:55:43	配慮、
0:55:44	そして、右肩上がりであれば、ものがですね、それなりに設計では、
0:55:55	若干やわらかめの値を与えるというのは福祉的なるからいいんだって いうのはそういう話があるんですけども、
0:56:03	ですね。
0:56:06	そうですね。
0:56:10	おっしゃってるその内装機器がやわらかいのは問題がないのかに対して、
0:56:20	が最初のお問いではありましたので、それが今の評価において、
0:56:31	ある意味そうですね。
0:56:33	構造解析として問題ないのかという観点と井関主幹で問題ないのかと いうところの説明をここでちょっと加えさせていただいてそんなに、
0:56:43	かなというふうに思いました。
0:56:44	はい、規制庁からモデル化しちゃう、なやわらかい内装機器をモデルに 組み込むことに、悪影響は本当に考えられてますか。そういう
0:56:58	規制庁の長谷川ですけど、だんだん話が難しい話になってきちゃってる んだけど、多分解析の保守性とかって、あんまり最終的に語れないと思 うんだよね。で、
0:57:09	今、今の話も別に正しいわけで、時刻歴から見たら、ヤマタネの総裁と かが入ってきちゃうんで、
0:57:18	何が保守的なのかとか、
0:57:22	何がコウ。
0:57:24	非安全側なんかっていうのは多分、失点系で解いても、FEMでといっ ても、機器を詳細に何かやっても、多分最終的に答えは多分、全部やって 確認しないと出ない。
0:57:38	だと思えますよね。で、ゆえに何を見たいのかっていうところをちゃん と着目していかないと、何を見るためにこの部分はこういうモデリングし てるんですという、
0:57:51	多分そういうことなんじゃないかなと。
0:57:54	いうふうに思っていますで、モデルを複雑にすればす、複雑にするほど 正しく出るところと、そうではないところもあるし、
0:58:04	個別で見れば開口部マリーとかだって、
0:58:08	多分ねこれ。
0:58:10	よくわからないから、詳細なモデリングしただけなんだと思うんだよね。
0:58:15	勝形なんで、できる限りモデリングなので、今日、最初の解析モデル、 グローブボックスの大枠をします。要は、メッシュの切り方は、こういうふ うに、

0:58:28	してるんですとか、
0:58:31	ちょっとそういうのはなCをしつつ、機器はこういうものはこういうふうにして こういうところを見るんですと。
0:58:39	努力を見るんですとか、変形を見るんです。頭使ってそうそこをちゃんと するしかもうないんじゃないかなと思うんですよね。だからノモトさんもう 1回1回はっていう、
0:58:51	多分答えが出てこないやつを言ってもしょうがなくて、全体として、どうい うモデリング具を、考え方をしてるんだ。
0:59:02	ていう最初のところにちゃんと原点に戻って欲しいというのが、今日の質 問でそうすると、基本的なラインが間違っていなければ、多分もう答えの 善し悪し言っても、ここまで複雑形にしてしまうと、
0:59:16	さらには今度は地震動の入れ方とか、にもよってきちゃうし、いろんなと ころが影響しちゃうんで、
0:59:25	駄目なことしなきゃしょうがねえなっていうのが僕のイメージです。
0:59:32	はい。前年のでございます。はい。ありがとうございます。
0:59:36	全体の方向性を教えていただいたんだと思います。今日ですね、いろい ろお話いただいて、
0:59:43	我々がちょっと説明しなきゃいけないので、足りないところとして、このモ デルの話は今いただきましたけども、上流として、構造として、
0:59:54	それを要求するものとして我々の地震に対してどういう構造費を設計と してやっているのかをまず述べた上でそれにその構造に対して権力が 耐え得るためにどうしても、そのタイムといっても、その目的は、
1:00:10	波及影響なのか、坂田力なのかということ踏まえて、その構造を適切 にですね、モデリングするというのは、こういうモデルなんであると。
1:00:20	いうことをご説明してそういうモデリングによって、その目的が達成でき るといったようなところの整備がですねちょっと今までお示しできてなか ったためにちょっとこういうご質問いただいているんだと、いうふうに思いま すのでそういうところを、
1:00:34	ちゃんと資料に落として、わかっただけのようなものをちょっと目指 したいというふうに思います。以上でございます。
1:00:50	はい。規制庁の水とか、そのモデリング関係で確認したいことある方が いいですか。
1:01:00	タダ規制庁なハセガワですけどももう1個、ちょっと、
1:01:05	これも簡単だと思うんだけど、何で固有種資料の中で小優秀キーを出 すときに、グローボックスの話をしているのに、なぜ聞く機器の固有周期 が合わせて出てきちゃってるのかっていうのがよくわからないんだけど、

1:01:20	その説明、要するにそういうところでせ何を説明したいのかとあと何か理解が深さが、こういうところで見え隠れしちゃうんじゃないかなっていう危惧なんですけど。
1:01:33	なぜ、
1:01:36	解析で出てきた順番にただ羅列してるんですか。
1:01:42	でございます今回、モード図を付けなきゃ駄目だろうと言ったのは、実は私でして、
1:01:50	等ですね、その時の作法といいますかそういうもんだろうって言ってるのは、このモデルに対して、実際にですね出てくるモードが、全体薬局長に出てきたようにするわけですけれども、
1:02:05	そういうものをある程度ちょっとiPhone前にですね、お出しするというのが、ちょっとこれまでの扱い方でもあったのでちょっとそれに沿ったような、
1:02:17	やり方でつけてしということでもっと発言の中で言ってしまいました。以上でございます。
1:02:25	すいませんコサクです。ちょっと野本さん、上方引き過ぎというか、あんまり好きなのかなって気がするんですけど、350 ページの話をしてるんだろうなと思うんですが、
1:02:41	卓越相当部材というのを、分析結果というか、結果として出されていて、搬送台車であったり秤量器であったりグローボックスのどこの部位かと。
1:02:53	いうことを整理されていてですね。
1:02:56	一応グローボックスだとどういう周期のところかっていうのはこれも部材なので結構極小の部分が多いんですけど、整理され、
1:03:07	Aますで、グローボックスこうあるのねというの見えるんですけど、これ
1:03:14	左の欄を見ると字数となってますね。
1:03:18	無条件に何番まで並べてますということじゃなくて、9 から 14 は抜けていて、1056 っていうのを抜き出してきてるっていうことからすると、
1:03:29	何らかここに示すものってこういうことだよなっていう思いは一応あって作業されてるような気がするんですけどいかがです。
1:03:37	遠藤でございます。はい。ここの次数の書き方の考え方ですけども、これはちょっと原燃の中である程度ちょっとこう決めてるような話ではあるんですけども、
1:03:49	えっとですね、この考え方は、字数の小さいところが大体ですね主要なモードになってきて、寄与が大きいのでまず大きいところは変えていくと。

1:04:01	いう形であるのとですね、1056 っていうのはこれはですね、0.05 秒のところを、全く二つのものを書いています。
1:04:12	で、0.05 ミヤマこれアノ 5 の、
1:04:16	江藤コウ分析といいますか、頭のところですので、十河に入るところの前後のところを、これ二つ入れているという人が入ってるわけです。
1:04:27	それで言うとグローボックスを抜き出すために 1056 オカキタノでは全くなくて、単純に上位の 8 番までと、サカイー1056 を乗せたっていうことで作業されたということで理解しました。
1:04:41	なのでちょっと私が考えていすぎたっていうことだと理解しましたが、それだとする等グローボックスとしての特徴のある次数応力として立っているところの、
1:04:53	こういう周期というのを一通り抜き出せてますかというところでいうとまだ足りない可能性があるということですかね。
1:04:59	住民の方でございます。そういう意味では、これで上の、
1:05:06	4 番 5 番で、主要なツキダテっていう考えがあるので、こちらは、ごめんなさい、古作です。今の言い方でどこまで 1 時間話したことが何も伝わってないっていうことだと思うんですけど、
1:05:19	グローボックスの評価をするという視点と、内装機器が波及影響を及ぼさないという視点もそれぞれあって、
1:05:26	それを議論するために、どこがポイントなのかというのを一通り上げるっていう発想を持ってないっていうことを、
1:05:34	ですよねこの図を書くときには持ってなかったのは、
1:05:38	あるんだと思うんですけど今の 1 時間たった上でも、
1:05:42	言っていただけじゃないんですか。
1:05:51	稲本でございます。今ちょっとすいません。詰まってしまったんですけども、
1:05:57	そうですねブロック数なり、内装基金がありますが、
1:06:05	はいですね。
1:06:08	私は必要な情報をお出しなきゃいけないと思うんですよ。うん。規制庁の長谷川です。野本さんさ、まず、大事なことからしたら一つ一つとかやろうよ。
1:06:19	これさ、グローボックスの設計の話だけにしましょうよ。
1:06:24	まずは、
1:06:28	んだけど、グローボックスのまず設計の善し悪しを見たいわけで、ダイウ機器の話は、今度波及的影響っていうのは、もう別の話で、まず置いときましょうよ。

1:06:41	そうやってやったときに、まずグローブボックスの設計をちゃんと語ってくださいねっていうだけなんですよね。
1:06:52	だから機器の話なんて、全部しなければ飯山十条なり、こういうモデリングの話はさっきの話としてはあるんだけど、今度結果の話だからね、今してるの。
1:07:07	規制庁カミデですけど、
1:07:10	もう、
1:07:11	ある意味では意味があって一次二次、要は、
1:07:15	どれぐらいのパソコンのってるのかなって思うと、一次にGがないと、よくわかんないねっていう形だし、
1:07:25	一方で、そのグローブボックス本体のモデル化だったりその条件の善し悪し、あとは設計の、もともとこれぐらいで作ろうってこれぐらいの構成を持たせたいねっていう、
1:07:36	いうことに対しての構成を見るっていう意味だとグローブボックス全体が降りて時数だったりそのモードの形が必要っていうことだと思うんですよ。
1:07:46	なんでそれぞれどういう目的があるからこういう示し方をするんですっていう説明をちゃんとしてもらえると、理解がいくと思うんですけど、ちょっとかけ違ってる。
1:07:56	て感じがし、
1:07:59	規制庁の長谷川ですけどいろんな見方はあるんだけど、
1:08:03	多分もう、
1:08:06	どうした方がいい。
1:08:08	別に個別の機器の話をしたいわけじゃなくてグローブボックスの話をしたい。結局これがグローブボックスの窓の窓イイダ分とか側面とかモウモウ動の出方がちょっとおかしいんじゃないかっていう気もするんですよ。
1:08:24	だったら、もしこれが一次で正しいんだったらここもちょっと補強しないとイケないんじゃないかとか、
1:08:30	いうそういう話を次回にしたいわけですよ。
1:08:34	そもそも全体のグローブボックスの揺れ方がこれいいのかと。
1:08:39	この揺れ方を元に、許容してるんですかっていう、そういうそういう設計の話は次にしたいんですよ。
1:08:49	だから出てきたものを、単に出せばいいってもんじゃなくて、吟味して、設計が正しいのかとか、そういうことを毎回やって欲しいんですよそれが設計だから、

1:09:05	ノロでございます。はい。当時ですのでグローブボックスの主要なモードがこのモードであって、これはこういう揺れ方をしているものであって、
1:09:18	それに対しての設計があれですね、この設計の結果としてのやり方がそもそも変な鍵のかかるような呼び方してないかという点も含めて、
1:09:31	ここは我々セキとして持っていかなくちゃいけないって、見たところ我々、設計としてこういうふうに判断したというのが、この部分は詳細にやっぱりご説明するためには必要だと。
1:09:45	いう理解をいたしました。
1:09:50	すいません。コサクです。何か申し訳ないんですけど
1:09:55	100、350 ページで言ってるそのどういう示し方をするかっていうのをちょっと検討させてください。波及影響としても見なきゃいけない部分もあってそれをどこでどういうふうにまとめるかっていう
1:10:06	記載の整理の考えなので、今後検討したいと思うんですけどいずれにしても、議論が必要なデータが抜けているっていうことがないように、それが未整理でき、
1:10:19	た状態で示せられるようにっていうことでは、進めていきたいと思ってます。はい。
1:10:26	こちらですけれども、基本的にはを任せるんだけれども、設計グローブボックスの基本的な設計の善し悪しを確認しないまま、
1:10:39	全部一緒ごとにやるのはあんまりよくないというのは意見として言っておけば、当然波及的影響というのも見るんだけれども、
1:10:49	こういうFEMくんと丸ごと全部いろんなのが出てきちゃって、混乱をしかねないので、各々のカテゴリーをちゃんと整理して一つ一つ丁寧に進めてくださいと。
1:11:02	その結果資料が、どうあれそれは構いませんと。あと、もうちょっと言うと、さっきの野本さんの説、これでは、いいですよって言ったのは、
1:11:13	ちょっとまた違うような気がしますと。
1:11:18	いうことです印象としては、了解です。どうもそれなんか、付け加えることはあります。ありがとうございます。ありがとうございます。
1:11:28	うん。
1:11:33	古作です。それで言うんですけどその前に管理課が少し言われてた、グローブボックスのユリ型というか、
1:11:43	4次5次というところに、ドイタブ等側面と、
1:11:48	出てきててですね、次のページに4時がありその次のページに誤字があると。
1:11:54	なってるんですけど、これの方は何か側面の、
1:11:59	1フレーム分ですかねいうところが

1:12:03	フレームだけでいうと 1G の形で
1:12:07	ボコボコと動いてるような絵になって、
1:12:11	いますけど、4 時の方はどちらかというともうちょっと全体的に動いてる感じがあって、
1:12:21	どういった部分ってのは、おそらくかなりですよ。うん。
1:12:24	これの一番面積の広い
1:12:27	面、
1:12:28	の変形っていうふうにとらえてると思うんですけど、これ側面も何か一時的に動いているような感じ。
1:12:36	貸していて、
1:12:39	そこら辺の理解ってどうなってるんですかね。
1:12:44	富士電機の磯山です。
1:12:48	ご説明させていただきますとちょっと報道図 4 時ですね。
1:12:55	351 ページ。
1:12:56	の方でちょっと、
1:12:58	やっていただくとパネル面、定期的か、どういった部分といったところの面積が広い。
1:13:05	以上になって、
1:13:07	モデルという証言。
1:13:08	ところが、言っている時をといった部分出てくる。
1:13:15	右側にあります、側面シェルでモデル化されてるところなんですけど、ここが振動するところが側面が浸透してる。
1:13:27	実際には
1:13:29	パネル面がドイた分が振動しだすと、フレームがコウ大綱のように、
1:13:37	膨らんだり縮まったりするんですけど、そこに横のフレームはそのまま測線側に入っているって。
1:13:45	まず委託のフレームが膨らむと。
1:13:48	そこの曲げが側面に入って、現場にいたか、側面が、
1:13:55	取っちゃうような形が出てしまうんで、ちょっと分離した形で、ちょっとモードが出ないっていう
1:14:02	形。
1:14:04	なので
1:14:05	こんなものがおかしいというわけではなくて、こういうものが起こりやすいっていうのは、実態としては、
1:14:15	規制庁の羽田世良ですけどですね、難しいという言い方がよくなかったかもしれないんだけど、この呼び方とか、どういうっていう基本的なね。
1:14:27	ところが、合っていないんじゃないかと、まず、もともと設計庁、

1:14:33	衛藤、大きなものというのは、多分、
1:14:37	塩害の短辺方向の大きな揺れが入ったり、
1:14:44	ていうところから入ってくる
1:14:49	基本的なこういう例が、ちゃんとできているのかとか、いうところから見ていけないといけないんだけど多分このAtもよくわからないんだよね。
1:15:01	このおなじみみんな、例えば今出てる 62 ページの図でも、それをわかりやすく、
1:15:10	してる。
1:15:12	なんですかっていうだけなんだけど、
1:15:15	みんな同じ方向から見てるだけで、一番見やすい方向になってたらもうちょっと理解が進むんだけど、あと言葉ね。
1:15:30	そのあたりがうまく合ってるのかっていうだけです。聞いたんです。そのあたり幾らですか。要は、全体の 4 時って、
1:15:39	普通そういう予定の、
1:15:41	みたいなもの、もう一時は面外ですね、と考えられるんですけど、今これ、
1:15:46	谷内がそれに相当するっていう、はい。はい。
1:15:51	見込んで、
1:15:53	表現、
1:15:55	何を言いたいのか。
1:15:57	書いてない。
1:15:59	だから、物として示そうと思ったらこんな形にはならざるをえないんですけど、でもこれ、ごめんなさいコサクです。追いつけてないので、確認なんですけど、4 時って本当にそうすかっていう気がしてて、4 時の絵を見るとですね。
1:16:13	左側の側面ガーダー側面かっていうとちょっとな。
1:16:19	ところが真ん中が
1:16:24	両脇から押され、
1:16:26	うん。
1:16:28	すぎていると、一方で右側の側面わあ、
1:16:31	閉経をあまりしてないのに側面が膨れているっていう感じ。
1:16:37	見えちゃうんですけど、他の線がまじってるからそうなっているだけなんですかね。先ほどの説明だと、右側の側面も左と同じように、
1:16:51	をし、両側から置き込まれていてそれによって側面が膨れてるんですけどっていう説明だったような気もするんですけど。
1:17:00	そういうところも見えないんですよ。
1:17:03	フジイ



1:17:04	もう一つ、ちょっとそういうところを書いてある。
1:17:09	モードの形状に対してそれが見やすい。
1:17:12	なっていないというのはおっしゃる通りですので、申し訳ありません。
1:17:17	実際にはこれは
1:17:20	丁目側と裏面が両方。
1:17:23	逆位相で、
1:17:28	変形している。
1:17:29	うん。
1:17:33	ちょっと、確かに埋葬を一緒に行ってしまうと、確かに
1:17:38	グローブボックスヤマモトがよくわからないとありますので、ちょっとその辺は、
1:17:43	ちょっと戻り、
1:17:45	形状に合わせて、ちょっと、
1:17:47	自分、
1:17:49	モデルケースとか動いてない要素とか、
1:17:55	今回、
1:17:57	とりあえず、計算書に乗せて抜きで全部出してしまったんですけども、
1:18:01	ちょっとあります。ちょっと申し訳ない。
1:18:04	規制庁は寿ハセガワですけれども、今説明があった通りなんですよ。だから、説明の信頼性っていうところに行き着いちゃって、わかるように説明をするっていう、
1:18:16	ことになってないんですよ。なので、
1:18:21	皆さん、大丈夫ですかって言う、ものすごく心配になってきてしまうんですよ。
1:18:26	結局、モデルをすごい複雑にしましたと、で出てきた。
1:18:32	外壁のポストプログラムに沿ってそのまま出しましたと。
1:18:40	だから、結果オーライというか、結果なりのやつをそのまま出した甲斐関井、正しいっていうか、複雑なモデル組んで解析したんだから答えも大丈夫だよな。
1:18:51	で、なのでPOS徳田プログラムで出てきたやつは正しいんですよっていうそんなような、
1:18:58	何ていうか、もう誰でもできるような説明はしないで欲しいし、こういうところがちょっとわかりづらいのはちょっと工夫して出さないといけないなとか、わかりやすいことをしないといけないなっていうその配慮を、
1:19:10	するのが技術者なんですよ。そういうところをSteeringっていうのがちゃんと見えないといけないんじゃないかと。

1:19:16	いうんでノモトさんなんかはこういうところを専門にやっていくんだけど自分がわかんないやつはわかんないんだよね。
1:19:23	なのでそういう視点に立って欲しいんですけど。
1:19:27	それが全体の話なんですよ。今日の全体の話でそういうところにあるんですよ。はい。
1:19:33	理解いただきました。
1:19:35	案件でございます。本当おっしゃる通りだと思います。ちょっとすみません、できてないところを申し訳ないんですけども、ちょっとちゃんと努めて参りたいと思います。以上でございます。
1:19:50	規制庁浜崎です。ちょっとついでに細かいところを確認したいんです。さっきのヨシノモード図で、
1:19:56	まずグローブボックスのモデル自体に向かって左手の側面っていうのはこれは、
1:20:02	何もない。
1:20:03	あんまりないんですよ。そうですね。このプログラムDBは今、甲斐コウです。全体で右の色はこれはシェルが入ってるんですよ。
1:20:13	さっき長様に言ったような、左側だけが、内野仁木君、これはそういう状況だというのが一つと。
1:20:22	あとですね、
1:20:27	正面のところって、これの中に入り込んで、
1:20:32	クレームだけやってくれるんですけど、うん。
1:20:36	ちなみにそういうときにフレームだけのときに、はい。内圧みたいな。
1:20:42	かけてます。これは設計上、
1:20:46	先生としては、この梁に、
1:20:50	はい、長坂中のアビル荷重という形で入力して、実際にはパネルのメール。
1:20:57	はい。お金に関わる計算して、それを、
1:21:02	立岩吉武、若杉アリマ、
1:21:08	そこら辺のシェルと、やはり使い分けて使うわけさわかりにくいところがやっぱりあるということですね。
1:21:15	あとですねちょっとさっきの 350 ページの固有周期をホリウチの結果のところなんですけど、これ野間さんも十分ご存知だと思うんですけど、30年のFM、D、
1:21:26	フクダてやると結構大変じゃないですか。主要の一次モード、例えば建屋連成基準の中には、
1:21:33	工事 2 本出ちゃって、

1:21:35	それもやっぱり全体に戻す見ないとわからなくて、たとえ一次とか二次っていうのは、ナカノ、比較的細かいものは、はい。
1:21:43	これと言ってしまう。
1:21:46	そういうで、
1:21:48	物を前提に、どの報道が、どの、今みたいに例えばグローブボックスのボックスの、支配的な固有値ですよっていうの。
1:21:59	三歳分けて説明いただくと、こういう表だと、もう一次が搬送台車じゃないかみたいになって、それでブロックみたいになっちゃうんですね。そこはきちんとやっぱり分けて、
1:22:10	説明を今必要だというふうに思いますので、はい。
1:22:16	やっぱり複雑系はわかりやすいっていうか、わかりにくいんですある意味わかりにくいんで、会社の段階でしっかりとそこは説明してもらわないと。
1:22:26	いろんな誤解を受けてしまう。はい。要はこれスペクトルモーダルでやってるんですけど、基本は渡嘉敷なんで、
1:22:35	応答解析の結果としての各部材の応力であったり節点のは、
1:22:39	加速度であったりとかフナダってのは、それはきちんと出てるというふうに思ってます。
1:22:45	思ってます。それに基づいて計算するのは堀田ホシコさんも、
1:22:48	スプレッドモードで固有値っていうのでこの3、50ページみたいなものが出てしまうと。
1:22:56	やっぱり一次補正係数大きいのはあって、目が行っちゃう。
1:23:01	そこをきちんと、今、設計すべきところというか、着目してるものに対応したモード図であり、ホリウチの結果でその結果を踏まえた、
1:23:11	応力評価という方向には、説明をしていただいたということです。ところがそこはですね、非常に構成が、
1:23:18	丁寧じゃないと。はい。
1:23:20	いうふうに思いますので、しっかりそこは、はい。説明ください。で、これしかないんですよ。計算書はもちろんないし、
1:23:27	基本設計方針に諮ることは全く入ってないのでは、我々判断しかねないし、しかないっていうか、できないんですね。はい。
1:23:36	説明の方、あと補足説明ですねまだ出てきてない、説明の方でもしっかりとチェックしてください。
1:23:43	新野でございます。確かにそうですね
1:23:46	この御説明の上での展示さんあたり、

1:23:49	タテないというのは、おっしゃる通りでして、呼称できたら、もう一つお出しするにしても、施設自体ブロックの終了者がどれであって、その人がどのような形状であるのかって、
1:24:02	この速記に対する本木さんこれであるということがちゃんと読み解けるような構成で、ちょっと説明としては同じすべきであったところを羅列的になっただけで、何のことやわからないと。
1:24:13	ちょっとそういう構成を出していきましてのは申し訳ございません。以上でございます。
1:24:19	はい来てたわけです。そうするとグローブボックスのところではそういうこの結果で搬送体制なり、協力、
1:24:26	これについては、この結果に基づいて、このモードで設計しますって言うんですよね。そうですね。はい。
1:24:33	はい。
1:24:35	そういう情報の方、整理の方、お願いします。
1:24:43	他、
1:24:45	よろしいです。はい、どうぞ。規制庁ハタケちょっとじゃあですね。
1:24:49	私の方からはですねちょっと先の話かもしれませんが、資料の 379 ページで、
1:24:56	これ影響評価で水平 2 方向の影響調査の結果出てます。
1:25:01	で、
1:25:02	まず、今、ブロックの
1:25:04	3 次元の応答解析っていうのは、3 方向同時入力の音か時期に基づいて評価されているということ。
1:25:15	はい。富士電機の磯山です。解析自体は、X方向のFRSY方向というところ 3 方法を別々に解析した。はい。その別々に解析したやつの各部材力を、
1:25:30	組み合わせて、
1:25:32	はい応力まで評価しているという形で算出してます。
1:25:37	わかりました。
1:25:38	その時にですね、379 ページは、水平 2 方向の影響ないという、
1:25:46	結果になってるんですけども、
1:25:48	何らかの根拠があってこれグローブボックスについては勢力の影響はない。
1:25:54	製法とか保持力の影響ないっていう判断されているのか、さっき言った、
1:25:59	3 方向同時入力と比較してたポートの、
1:26:03	冒頭の結果がない中進捗報告と、

1:26:06	もうほとんどないとかですね、そういうことを判断された上での結果なのか。
1:26:14	いやグローブボックスだから、
1:26:15	もう影響ないですって言っちゃってるとか、その辺り判断、どう、
1:26:26	フジイ、
1:26:27	はい。はい。
1:26:29	柳井山田です。基本的には
1:26:33	表の左側に書いてございます。
1:26:36	もう、グローボックス自身が受け設備で音軸が明確だということをもって、積極的な判断として、
1:26:45	説明しますけど、規制庁アオキです。なぜグローボックスを投じないか。
1:26:58	そのボックス自身がA型設備、
1:27:03	形状ですね、構造形状が府警型なところで、その判断さしていただいて、
1:27:09	きちょうんじゃないんですけど、ちょっと言葉が足りない。このグループそのものが、割とよく長野コイケセキであってサポートがついているという構造であって、
1:27:21	その応答のですねX方向とY方向の水にここそれぞれ 10 分ありますけれども、それぞれの自分に対して、何ですかね
1:27:31	どちらが降りやすいかというのは比較的明快であると、いうことで、そのアノフルヤ水軸がメーカーであるからそちらの仕様になって、オールが立ってくるという観点で、これは水平 2 方向の影響というのでこういう発生してるという形で、後継設備はそういうはっきりしてるというふうに、
1:27:51	すいません。そうですね。きつい規制っていう感じですけど、だとするとさっきの 351 ページ 352 ページ、戻す。
1:28:01	幼児工事、あとその前に主ケースで、今の説明ができると思うんですけど、あんまりできると思うんですか。
1:28:11	ほら、ドイツグが卓越でしょうっていうと、こんなサポート入れちゃうと、音軸明確な
1:28:19	これでも今明確ですか。
1:28:25	授業に出て、
1:28:27	ところで、
1:28:28	そうです。
1:28:29	根井アノピックアップ度合い方向が、
1:28:36	要するに企業がですね、

1:28:40	コサクですけど、追加でいうと、サポートは相当な剛構造にしてればですよ。
1:28:47	どちらかで入れてもがっちりとめてんですというので明確ですって言うかもしれないですけど、
1:28:52	一方で先ほど浜崎さんから補足で言っていたように左の側面は
1:28:59	最高だと、ということだとするとそれだけでも形として、
1:29:04	形状言っただけじゃないんですよ。で、実際の応答としても、ポコポコという動きをしていて、時空だけで動くわけじゃなくて、
1:29:15	影響を受けてるっていうふうに見えるんですけど。
1:29:20	大丈夫ですか。
1:29:22	玄野元でございます。
1:29:26	ちょっと私がかですね、言っただけのいかどうかあれなんですけれども、確かにおっしゃる通り、こういう複雑系にアノコウサポートつけちゃったら多分イソザキになってるんですね。なんで、このブロック、
1:29:39	工数のこの件に対して、前提なし2、ちょっと言うのって、なかなか苦しいなと思いながら私しゃべっておりました。
1:29:49	ですね。
1:29:50	麻生これ影響どうなるかっていうことを、ちょっと我々の中でもちょっと確認してお示ししつつ、影響軽微っていうのをある程度ちょっとある程度定量的にお話ししないとけないかなと。
1:30:03	いうふうに私ちょっと思っておりました。かえって怒られるかもしれませんがでもすいません。以上でございます。
1:30:11	古作です。
1:30:14	そもそも起こってるんだとしたら、ちゃんと整理してないのに何なんだろうっていう気がするんですけど、
1:30:22	私がこの戻ってみ。
1:30:25	モトズミたりする限りにおいては、
1:30:30	3次元影響が出得る構造であってちゃんと分析すべきというふうに思います。
1:30:39	なので、ちゃんとですね、実態を見て複雑形だということを次意識して、どう考える必要があるかということ丁寧な説明いただきたいと。
1:30:50	思います単純に矩形だからっていうのはもう全く有り得ないと思います以上です。
1:30:57	議員のでございます。承知いたしました。
1:30:59	はい。規制庁浜崎です。先ほど青山さんおっしゃったゴトウジンボミウラフクイテ、
1:31:04	あのトレンチとか、

1:31:06	3 明らかに正直弱軸と分かれるわけですね。それは誰が議長。
1:31:11	で、
1:31:12	グローブボックスも確かに幾つか種類があって、かなり高教授空丹治区、
1:31:18	弱軸に、
1:31:20	評価できていいかなってようなものがあれば、
1:31:23	今ここに提示されてるのは、
1:31:26	ちょっとその説明では納得できないというのが一つ。
1:31:31	それと、教授区丹治区、
1:31:33	藤地区、
1:31:37	一応ここってというのは、基本的には食べ方なんです。
1:31:41	壁式構造なんですよ。
1:31:44	で、今回、ブロックフレームポートで、
1:31:47	フレームボックスフレーム構造であり、なおかつこのほぼ、直方体近いようなですね。
1:31:54	構造物上、隅柱の水平 2 方向の影響がないっていうのは、ちょっと
1:32:00	我々としては常識になり、
1:32:03	ので、この判断、379 ページの判断をされていること自体がですね、さっき言ったような、裏を取ってない。
1:32:10	ので判断されてるようならば、
1:32:13	他の評価広告に対しても、これ本当だなって、全部思っちゃうんですよ。
1:32:19	そういうところをしっかりと、
1:32:23	資料ですね、配慮した上で作成してもらいたい。
1:32:28	よろしいですか。
1:32:35	はい。
1:32:37	ちょっとさっきの事例的なことを言いました。
1:32:41	駄目です。で、あとこの資料自体も全室でかなり細かいところなんですけども、いつもこう着といいますか、確認したいこともあるんですけども、
1:32:51	現在そこ確認してもですねあんまり意味がないかなと思ってると、あと補足のほうで、さっきも言いましたように、もうちょっと詳細な説明が今後出てくると。
1:33:00	で、
1:33:01	それを、
1:33:02	踏まえてですね、確認したいと思ってます。
1:33:08	はい。

1:33:10	はい、与儀仁科でございます。まずは、おっしゃっていただいて、全体の流れとして、言ってることが矛盾してるところが幾つかあるところをちょっと是正していくと。
1:33:21	全体の流れをちゃんと作ってですね、説明の一貫性をとることで整理しますと、個別遅く、すいません、来週特に全く出てないので、個別補足で何をする、当たるかっていうのも含めて、ぜひ
1:33:35	はい。
1:33:41	はい、規制庁です。グローブボックスの話で、
1:33:47	といたしますか。
1:33:51	小阪です。補足つくるにあたってですけど、先ほど最初の方にですね、累計としての話少しありましたけど、
1:34:02	まずはこのグローボックスでしっかりと特徴を整理をして、どういう、どの視点、どの、グローボックスと内装機器とまず分けながら、
1:34:13	どういう特徴があるのかという話を整理をいただくと。
1:34:17	ということで、その上で他のグローボックス来少なくとも今回の申請対象のグローボックスと、
1:34:25	ということについてもう
1:34:28	同じような整理はしつつ、特徴として同じなのか、違うのかと。
1:34:34	トップそのグローボックス特有のこういう特徴があるのかどうかと、というようなことを整理をしていただいて固有の特徴があるものは、具体的に説明をしていただくと。
1:34:45	ということが必要だと思いますので、補足でその辺り全体がわかるようにしてください。
1:34:51	以上です。
1:34:53	はい。与儀ニシダでございます。はい。
1:34:56	それは確実に前から宿題になってると思ってます。はい。
1:35:02	規制庁のハセガワですけれども、今、だんだんだんだん詳細な話になってるんなくなってしまったんですけども、
1:35:12	今日の目的をちゃんと理解して多分最初の結論がちゃんと見てないとかっていうところが、いろんなところから、結局信頼性に欠けてるんですよ。
1:35:23	いろんなところで飛ばしてたり、丁寧な説明になってないっていうだけなんで、その資料を作るというよりも、どういう説明がしないといけないとかそういう基本的なところにちゃんと立ち返って、資料作るんだったら全部作り変えてくださいよと。
1:35:40	いうぐらいの僕はもうレベル感で、最終的に私が理解できなかった場合には、ずっとまずいな。



1:35:50	で、野本さんもはいとかって言うてるけれども、本当にちゃんと自分の中で、正しい理解、要は飛ばしちゃいけないですよ。
1:35:59	寝せ丁寧なことっていうのは最後0になるんだつたらどんなルートをたどってもちゃんとすれば0になるんだけど、飛ばしたのはわかんなくなっちゃうっていう、
1:36:09	結局最後の細かい各論になっていくと、ちゃんと見てないとか、ちょっとおかしいんじゃないかとか何かいろんなところの疑問が湧いてくるわけですよ。
1:36:21	なので、そういうふうにならないように一つ一つ順を追ってやってくださいねっていうこれ午後の
1:36:29	再処理の
1:36:31	地盤に対しても、また同じことやってきてるんだよね。
1:36:34	100回とか200回言っても毎回ずっと同じことやってるんで、MOXはそれやると永久に終わりませんよっていう。
1:36:44	丁寧にやってくださいねっていうちゃんと
1:36:48	ですけど、今日今日の趣旨をちゃんと理解してくださいね。
1:36:52	出野でございます。承知いたしました。
1:36:58	規制庁です。多分これからまた細かい話してもしょうがないんで。それじゃ次どうしましょうか。配管とかも同じような状況ですから、とは言ってもまずは、
1:37:09	もうまずはグローブボックス、そこをしっかりと、次の次の次ぐらいの会合に向けてしっかりと説明できるようにっていうことだと思いますけど。
1:37:19	どういうふうに進めていきましょうか。
1:37:23	はい。
1:37:26	はい。
1:37:28	最新のやつでいくつかパーツ組んでます。
1:37:32	前も多分1日、
1:37:33	そんなことにならないのでまずグローブボックスに着目しつつ、
1:37:37	全体でストーリーですかね、設計の考え方だったりというのを整理をしていくと、いうことで、全体のグローブボックスに対してもどう考えるのかっていうところの整理も、
1:37:49	含めて、そこをまずはちゃんとやろうということで整理をします。
1:37:54	なので、次、お出しすると、今の資料自体も、お金が言われたように1回、すべて、もう1回1回組み直すぐらいの気持ちでやらないと意味がないので、
1:38:04	またパッチ当てをしても、ろくなことじゃないので、そこは整理すると。

1:38:08	次回出す時そういうパーツパーツんなっちゃいますけど、やらしていただくと思います。スケジュールは、
1:38:16	昨日出ししてるスケジュール。
1:38:19	来週金曜日なってますけどそこも含めてスケジュール感をもう一度整理をして、かつヒアリング、ちょっと今まで、
1:38:27	他の条文と同時にやってきましたけど、それもちゃんとそれぞれちゃんと時間を取ってやるということで整理をして、スケジュール関係を組んでいきたい。
1:38:35	思います。はい。
1:38:38	規制庁上出です。次出てくるタイミングだと、資料3がないと。はい。結局パッケージとしてはグローボックスのない時。
1:38:48	分散をパッケージでちゃんと出てくると思っていいですか。
1:38:54	ニシダでございますはい。先ほどの話で
1:38:57	構造として見なきゃいけない場合ってのが今の評価を見た上で、まだ足りない。
1:39:03	当然出していないといけないんで、資料3とセットで、はい。ついて説明させていただきます。
1:39:10	はい、清長官です。その上で、
1:39:14	来週、
1:39:16	来週か。
1:39:26	コサクです。
1:39:28	ちょっと聞こえなくなっちゃったんですけど少し追加で、
1:39:33	お話し、
1:39:34	北東アノ配管は、またってことでしたけど、先ほどの内装機器等の議論の中でもあったように、配管が接続するところ今管台の形で切ってますけど、
1:39:50	影響出ないのとかっていうことを、お互いにですね、いう話は内装機器の議論と同じように整理をしていただいてちゃんとどこまでの、
1:40:01	モデル化でいいのか。
1:40:03	ていうのは話をあわせてしておいてください。
1:40:09	ファイルです。
1:40:11	その際、
1:40:12	すいません
1:40:14	個人的には疑問
1:40:15	今、いろんな考えとか、開口部を重要負荷しているとかっていうのはあるんですけど、本当に重要でその部分に単純に付加して終わるものな

	のかどうかっていうのは若干モデルの組み方を含めて考え方をちゃんと整理をして、
1:40:30	どういう考えでそうしてるのかというところがちゃんと説明できるように、
1:40:34	せなあかんと思いますんで、次回出すときに、そういう整理をして出す必要があるというふうには認識をしています。はい。
1:40:44	規制庁カミデフクマっていうと配管っていう意味だと、そのグローブボックス内の配管があってそれはなんか5にします。だから、しかもそれに対して、次回も含めた加速度7gで持たせるJASMINEなんか、
1:41:00	なんですけど、その辺もまだグローボックスの範囲としてちょっと聞きたいので、資料3から
1:41:07	4 あんまりない。
1:41:11	4 だと、家族どうやって取り出しますけど、マツダだと思いますけど、
1:41:16	話が、
1:41:20	はい。
1:41:21	勝野店長の長谷川ですけどちょっと最後に確認なんだけど、多分、
1:41:27	その説明なり、解析説明の仕方っていうのは、
1:41:32	結構高度をっていうか、大変だと思うんですけど。
1:41:36	この道で歩もうのね。
1:41:40	するんですけど、それも含めて考えたいというのが、はい。おっしゃっていただいていることもよくわかります。はい。
1:41:49	そこも含めてはい。中身のすべてがね、いろいろコミコミなってるんだけど、
1:41:55	やっぱそうだけれども、説明を見せると、いつまでたっても進まないし、何も終わらないっていう、最も危険な説明の僕は仕方だと。
1:42:06	持っていますけれどもそれを歩むんだったらそうしてくださいっていうだけで、
1:42:12	です。
1:42:14	乳井西原。
1:42:15	江崎いただいていることは理解をしていますので。はい。どういうやり方、今のやり方なのか、ちゃんと
1:42:24	それぞれやりたいことわけ。整理をするというやり方も当然ありますのでそこも含めて整理をさせていただきます。はい。
1:42:35	今の道が大変厳しいというのがいいかな。はい。
1:42:43	はい、規制庁、五味さん。あと、その具体のスケジュールはまたこの日に進むかだと思うんですけど、ちょっと補足を、これオダテナガエ出すっていうところはちゃんと話をしなきゃいけない。
1:42:57	そうですね。

1:42:59	入れない。
1:43:03	今回のグローブボックスに関係する。
1:43:09	耐震建物0内の表カーの網羅性みたいなところはあるとは思っている とあと、変更点という意味だと、13年前の13があり、
1:43:21	何か一応類型化っていうと、07があるんですけど、あれはどこまで関係 するのか、チェックに類するもの。
1:43:30	一旦、この政府の中で語っていくのかなみたいな思いもあったり、後で 抜き出した抜き出して、個別を大臣綺麗ウダに放り込めばいいのかな みたいな。
1:43:40	思ってみましたはい。
1:43:43	規制庁から、いずれにしてもちょっと進め方でできないように
1:43:48	むしろにもついてますけど、前回出した一覧プラス第2、
1:43:54	もう前回だけですよね。第1回申請の時の、00の資料5で、工事課も 含めても、口出しはしているわけだから、一応それ出してもらって、これ とこれは、
1:44:07	ここニワみたいなすのでちょっと意識を瀬下はい。はい。
1:44:14	はい、規制庁勝他全体なければよろしいですか。
1:44:17	はい。
1:44:19	これで午前中の分のヒアリング
1:44:22	終わりたいと思います。
1:44:24	失礼します。
0:00:02	規制庁のカミデです。それでは午後のヒアリングを開始します。
0:00:08	午後の部は昨日提示があった、設工認申請の対応状況ということデマ チ版の会合資料の素案みたいな形ですが、
0:00:19	これについて話をします。
0:00:22	出席者については規制庁側オノハバサキカミデWebからキシノハセガ ワ管理課となっています。あと遅れてコサクノサカがあって、
0:00:33	です。
0:00:34	それでは本件、出席者と、あとは、資料、今後どうしていくかも含めて、 簡単に説明いただければと思います。
0:00:47	はい。日本原燃事務局の中浜です。まず出席者の方を紹介させていた だきます。
0:00:54	ケットク、
0:00:56	ノモトWebからの参加となりますけれども、ハセガワコウカセ、当然設定 様よりウノ様。
0:01:05	再処理の事務局さんとさせていただいてございます。

0:01:09	出席者以上でございます。説明の方よろしく願いいたします。はい。日本原燃決得でございます。すいません、本日の説明で少しご説明させていただきたいと思います。まず2ページ目お願いいたします。
0:01:22	本日の説明等書いてますけどもまず、本日は、Aグループ、これのデータ整理の結果を、まずはきっちりご説明することだと思います。それから、次回の提出版においてそ今日日本日受けたのまとめ方を反映したやつを12グループを
0:01:39	次回に御説明かなとあと、類似性の分析なんかはこれ、本日資料イメージをつけておりますけども、この話が本日するわけではなくてやはり12グループ全部出揃った後に、議論すべきというふうに考えております。ただちょっとイメージ、我々の考えてるイメージをわかるために、資料はつけておりますけども本日、
0:01:58	そこまで深くここを議論するというよりはまずはAをきっちり仕上げたいと思っておりますのでへの説明を野本から簡単にさせて、さしていただきたいと思います。
0:02:08	日本原燃堂本でございます。サクマって、ちょっと待って規制庁のハセガワですけど、
0:02:14	ちょっと待ってもらっていい。はい。
0:02:18	今、
0:02:20	の話をするというふうにしたんだけど、我々、
0:02:25	は全くいいわけではないけど大体、大体こんなもんかなっていう雰囲気にはなってる、この後ろにくっついてむしろ後ろにくっついてるやつを、これ何で議論しよう。
0:02:38	と思ってた人の人が多分大半だと思うんだけど、
0:02:43	ちょっと、まず、いつも我々、ちょっとその辺を
0:02:50	ちょっと、
0:02:52	まず方向だけお話ししましょうか。
0:02:55	そうですねまず、本日の必須はをきっちり固めるというところそれをまた10×10にしないといけないので、オオキイチカワトモダ第一義のヒアリングの目的だと考えてます。
0:03:08	で、今5ポツでですね5ポツ、次の目次の3ページにあります5ポツで、
0:03:16	どういうまとめ方というか、類似性を分析してこう一緒にできないような話は、5ポツのところに、載せようと思ってるけど本日今、資料はつけてるんですけどこれ、

0:03:26	まだ十分にグループ全部見せてない段階で、ちょっとこれ議論できるのかというのも、何か中では議論がありましてですね、本日、必須は時間とか、大体のところが決まれば、
0:03:40	次のステップとして 55 のところに入れば入りたいんですけども、少しフライング気味かなという認識を持っております。以上です。
0:03:53	規制庁の長谷川ですけど。あとだから、他の人の意見も上出さんの方で、
0:04:00	進めてもらえれば、
0:04:02	いいです。わかりました。あと、規制庁カミデですけど、を固めるという中身の話するわけじゃなくて、
0:04:09	構成の話なんだと思うんですよ。中にエリアをどういうふうに見せていきますかということ、
0:04:15	まずは認識を図らないと、
0:04:20	資料、多分つくれないというのはできちゃうんでしょう。
0:04:24	根本アシダでてくるのが出てくるんだと思いますけども、構成の話をどうしていくかっていう話をまず先にして、そのあとに、5 ポツに書いてある、これ何というんですよ。わかりました。はい。
0:04:36	国際、はい。
0:04:38	それでは、日本原燃の方でございます。等ですね、一般ステージの 4 ページのところから、前回からの変更点を途中にご説明差し上げたいと思います。
0:04:49	スギタカミイチそれもよくて、
0:04:53	構成の話をするんでやっぱ 1 ポツ 2 ポツら、特段話をする必要もなく、はい。
0:05:00	あとこの 3 ポツと 4 ポツをどうしていくつもりなのか、今だけで出てますけど、それを掛ける 10 にするつもりなんですか。
0:05:11	はい。技能でございます。はい。衛藤菅に掛ける 12 を超え、今 3.1 で、キリンググループで書いておりますけど 3.2F 施設周辺という形で 30 人までできるできると。
0:05:23	そういうイメージをもう愚直に抑えようかなあと感じておりました。
0:05:29	ちなみに、24 ページの下にありますけど、下にあるその平均化の仕方みたい。
0:05:37	これも、エンドウの平均の仕方、
0:05:40	f 平均の仕方っていう形で、掛ける 12 出てくるってそうそういうイメージの話をされている。
0:05:47	玄野本でございます。そうですねこの手順が全部かぶるのはかぶりませうね。

0:05:54	かぶるんですけれども、
0:05:57	あ、そうですね。
0:05:59	ちょっとそこは、を運用して同じであれば同じという形で後ろでは書くと、 ちょっとそんな形にはなるかなとは思いますが、
0:06:09	規制庁、田部井です。現状は、どういう形で作られてる
0:06:13	ですねえ、現業は、一応このままですね 24 ページだったら 24 ページの この内容で書いていくんですけれども、そうですね。
0:06:27	この日平均。
0:06:30	そうですね。
0:06:38	成長のためですけどさらに資料出てくる明日じゃないですか。そうですね。 だから、今の段階で、
0:06:47	急ぎで今作ってるものを、バツと直してナカマタ変な
0:06:55	とりあえずフジキ 22 で作ってるのであれば、まずは資料としてはそうや って出していて、金曜日のヒアリングの時にまず口頭でこれはこういうふ うに、
0:07:04	うん。いうふうにするのも、一つの手ではあるなと。
0:07:12	えっとです。
0:07:18	六ヶ所オガワ作業所どうですかどっちの方が明日中に、まずミキ上で、 やりや良いですか。
0:07:27	はい。日本原燃のオガセです現在のやっている作業とかっていうところ も踏まえてのお話ですけども、今いわゆる俗にアノ掛ける 12 でも単 純にやっているっていうのが現状でございますので、それベースでござ いますで、あれば明日の、はい。
0:07:41	ところである意味綺麗なものとしては、出せる見込みでございます。
0:07:47	同じものが何遍も出てくるのは、これじゃないんでそのあとどう、ちょっと 整理として、外に見せる時にもう一緒にしますとかいうのは、
0:07:57	出てきた後の話です。はい。
0:08:01	はい、規制庁、じゃあ、はっきり 12 の話はそういう形にしましょう。で、あ ともう 1 個あるのが、
0:08:09	目次でいう 3、3 ページ目次ですけど、3 ポツで書く内容と、4 ポツで書く 内容の、
0:08:15	中俯瞰っていうの、
0:08:17	あってですね。
0:08:19	3 で話をする内容読んだ話をする内容、こういうことなんですっていう。
0:08:24	まず
0:08:25	所。

0:08:26	話を聞きたいんですけど、そんな感じですか。辨野でございます。3例。話の内容は、とったDた。
0:08:35	それからその2ぽつまであるわけですけども、それが12グループの敷地2でどのデータ使うのかということの整備が3ポツで、
0:08:47	どういった使うのかが決まった後にですね、このですね
0:08:55	4ポツではですね、そのデータに基づいて、ここの整理をやると、だから生のデータを整備するというのが3ポツの段階、それから、
0:09:08	2ポツ3ポツの段階ですね、業務報Ⅱは、生のデータが出てきたものを、そのグループ内でこの俯瞰するというのが4ポツでの活動になるというふうに考えてございます。
0:09:23	ごめんなさい、規制庁から4ポツをもう1回、
0:09:27	4ポツ、あ、すみません、現状でございます。4ポツは、この3ポツまでに、整理したそのグループ内で、適用するデータを俯瞰して、このグループでのデータが、
0:09:41	そうですね具体的に申しますと、このですね看板部分の物性値であれば、ボーリングデータが複数個出てくるわけですけども、これに基づきまして、従前ですね18オダして参りましたタケヤのですね所、
0:09:57	そして、これが一律の
0:10:02	基礎構造から見ても平均で取れるのかどうかとか、下に断層を盛り込んでいたらどう扱うのかとかいったような、グループ内での分析がここに入って来るものというふうに考えているところでございます。
0:10:15	下水についてもですね、このグループに適用されるデータ、
0:10:19	が、どういうふうな形になるかというのを改めてのデータに基づいて、整理しますというのが
0:10:27	いいなというふうに考えてございます。以上でございます。
0:10:31	はい、規制庁がちょっとサンポ先発の書き分け規制庁側からは、何か具体的に、これはみたいな。
0:10:39	今の話だととりあえず書き分けているという話でしたけど、
0:10:43	規制庁の長谷川ですけど、いいですか。お願いします。
0:10:47	持とう。
0:10:49	どれを使うっていうのはもう、
0:10:53	この例えば13ページ。
0:10:56	の表で決まっています、
0:10:59	これ、最初からずっとこういうふうな形で来てるからもうここで何か終わってるんじゃないかなと思ってるんですよ。
0:11:07	例えばは13ページの場合は9ページだったような気がするんですけど、まあまあそれはいいとして、



0:11:16	そこでもう、このデータ使ってやりますよって言ったらそのままの、
0:11:22	に入れればいいんだけど、
0:11:27	何か余分なのがつき始めたんだよねっていう。
0:11:32	そういう印象なんですけど。
0:11:35	原燃野本でございます。えっとですね、
0:11:40	前回から比べても、余分なものがついたというよりはちょっと分け方が少し変わったようなところにはなっていて、
0:11:48	こちらから言ったこと等を、じゃないことをまた知らしたっていう。
0:11:53	ふうにして、せっかく前か目次までかい。
0:11:58	こんなイメージだっという話でそこで相違が取れたと思ったんだけどまた新しいことをし出しちゃったんじゃないんですかって。
0:12:08	はい。安倍さん、1回決めたことをそのまま何でやらないのかが、
0:12:12	毎回何かこういう話あんまりしたくないんですよっていう。
0:12:18	日本における多分彼がおっしゃってるいただいてる13から17はこれ、前と一緒に、そこはええんですけどもそのあとにもう1回また、それを図、図式化してるやんか。
0:12:32	そうですねと3ポツのところ、サンポ築城のところ、だとかいうところ、はい。だから結局19ページ、192021ページから10-34ページ、19からおっしゃる通り、はい。
0:12:50	うん。そしてまたね、例えば19ページでこういうことをやってるのが、はい。
0:12:57	23ページにも現れるわけですよ。
0:13:01	はい。
0:13:02	そうですねはいは23年。だからそもそも今回の場合、いらぬのは表まで入る48ページまでは、前回通りだからいいんだけど、1920、21ページは、19款がない、4と19款があって、
0:13:18	だからなぜこうこういうのが改めてついちゃったのかなって要らないんじゃないかって、はい。あるんですかっていうことです。特に深い意図はございません。何でなんだと。
0:13:30	いうことに関しましては、実はこれに相当するような、強いとか前回の会議の時にはちょっとつけていたというのがありまして、ちょっと前回丁寧にちょっとしなくちゃいけないなと我々も考えてですねあれ抜いたのはやっぱり、
0:13:45	いけなかったのかなとか思いながらちょっとコウセイノ線がちょっと悪いということを考えずにちょっとつけてしまったといったようなあまり深い考えがないところでございます。以上でございます。

0:13:55	いや、とりあえず僕はいらないかなと、3 ページぐらいじゃないかなと。でも野本さんの今の説明って僕は全然信用できてなくて、丁寧に僕は言ってる、今日みたいな5 ポツみたいなのを勝手にくっつけてきて全然丁寧じゃないやつくっつけてきて、
0:14:13	丁寧に説明したいなんていうのは、だからそういうことを言われるとすごい何か、
0:14:18	信頼っていうか、何やりたいんだかよくわからなくなっちゃうんだよね。
0:14:24	はい。申し訳ありません。いやだからそれ謝ってもらってもしょうがないんだけど結局ポポツなんか全然丁寧じゃないじゃん。
0:14:33	はい。はい。だから言ってることがものすごく矛盾してるんですよ。
0:14:39	入ったので、こういう積んで、たったこれだけ前回あれだけやったのに、なんで、
0:14:45	シンプルなならないか自活も多過ぎるしね。
0:14:50	だから、ここまでっていうのはもう、データをプロットすれば済んじゃうんですよ。言葉なんか要らないんだよ。
0:15:01	はい。
0:15:03	日本だけ徳田すみません私も見ていてすいません。13 から 17 これは間違いなくいる。これはもう、
0:15:13	また実は 13 から 17 はまた集約した後もう 1 回これやり直さないかんぬ再度使わなあかんという認識は、今のところありますのでそれも今入ってない状態ですけども、13 から 17 回行って、
0:15:25	18 は別として 19 からは還元になんと、4 ポイントの 10 区間がありますのでここを 12 グループ作るっちゃうのはちょっと余った判断だと思いますので訂正させていただきたいと思います。
0:15:40	10、6、17 までと。これ 18 回っても、図なんでええかもしれない。いいです。とりあえずそれで、4 ページから、
0:15:51	はい。はい。
0:15:54	この 181920 とかを入れたいんだよね。4 ポツの中に。そうですね。入ればいい、いいだけでも多分中身変わってないっしょですんで、19 款おっしゃる通りです
0:16:06	4 ポツ 1 でいきますので、1920、25。
0:16:12	やっぱ。はい。他に異論なければ、うちの方から、はい。そういうふうにした方がいいと思います。はい、わかりました。理解いたしました。
0:16:23	はい、規制庁じゃさっき×3 ポツの拡充にとりあえずって言ってました。3 ポツの方は、サンポスミダさせてください。19、20、20、
0:16:34	とにかく、
0:16:35	おそらく不要であろうと。

0:16:37	特別に何か、
0:16:39	これだけはみたいなの、面白ければですね、
0:16:42	次 14、もしかしたらあるかもしれないですかね。
0:16:46	10。はい。
0:16:48	もう、若干ね。ええ。
0:16:51	ソウノキクカワっていう定義とかをしているから、どうしてもここでその話をしなきゃいけないっていうのであれば何かあるかもしれないですけど、愚直にかけるみたいなのは特にいらなし、
0:17:01	いえる説明であっても、
0:17:05	はい。
0:17:08	規制庁。
0:17:09	あとじゃ 4 ポツ、どんな感じか。
0:17:12	大丈夫です。
0:17:14	どうでしょうかね。
0:17:19	規制庁たいすまず私から話をするんだと、4 ポツ、
0:17:25	32 ページ。
0:17:30	いって、
0:17:32	ここまでの話が 4 ポツなんですかっていうのを合わせたい。
0:17:39	右上のエSPA消そう。これは単純にプロットしたもんですね。はいはい。
0:17:47	グループでとれたものタダ生をそのまま使いますと。はい。
0:17:54	で、
0:17:56	逆にその真ん中のC3 の地震観測記録でいくと、
0:18:03	多分真ん中が信頼区間であるはず。
0:18:07	はい。ガイソウしてますね。うん。
0:18:12	いう。
0:18:14	要は自分たちの処理が、
0:18:17	諸
0:18:17	杯何万、
0:18:19	就活記録自体生でもないんですけど、ここまではいけるでしょうと言っている。
0:18:25	話なのか、そのあとの処理までを、いう話なのか、また自身は甲斐正孝だと本当にまた生の、
0:18:34	るんですけど、
0:18:36	4 ポツってどこまでが 4 ポツなんです。
0:18:39	んとですねえ。先ほどの、
0:18:43	前段のですね、今日、データ整理した 13 ページからの、

0:18:49	表に対応したDたの、整理結果を戻してるということなんですけど今おっしゃった椎野さんの同定のところは、
0:19:01	ここは同定の解析の結果がこのに相当するものはこうであるという、線はともかくといたしまして、これ信頼区間のところまで入れているというのは、
0:19:12	ここのAに相当するデータとしての集落間の議論ではあるのでここで書くのかなあと思いながら書いているところになってございます。
0:19:27	日本が抜けてるんです。今、多分神谷さんのおっしゃっていただいているのは、要はもう機械的に張りつけた。
0:19:35	で、アウトプットを載せる欄なのか、少し原燃の考察を入れるず、どこまで入れるのかと。
0:19:43	いうのでちょっとトーンが取れてないのではないかと言う風に思っております。そういう意味ではコース、例えばSR検層について、これのベストフィットカーブとかいうのはもう考察に属する話なので、ここには書かないと、ということではあるんですけども、Cさんの、
0:19:58	同点ですと、
0:20:00	このデータ自体は同定の解析の結果から出てきた結果そのものだけのものであると、この信頼区間をこのように、色を塗るのが、
0:20:11	これが考察なのかデータなのかということであるとは思いますが、この観測記録食うん、その同定のですね、
0:20:23	解析の意味合いから考えてここがデータとして、見るところであるという感じでいくと、データからは素直に出てくる世界としてここは、
0:20:36	記載というのが整理がいいんじゃないかと考えておるところではございます。
0:20:44	はい、規制庁、
0:20:47	ちなみに、うん、あれでしたっけ、S波検層は見えてる範囲は信頼できますねってということなんです。
0:20:57	中央
0:20:59	今 37 ページ。
0:21:03	中オオヒガシは、
0:21:06	短周期側で、
0:21:09	ハッチングがないんだけど、西だけ左側にハッチングがあつて、うん。
0:21:15	棄却した範囲っていうのと、何と、
0:21:21	はい。漸増でございます。そういう意味では今日はですね 32 ページの今日はそのまま何も棄却とかいう話が書いていないというのは、おっしゃる通りでして、ここ須崎は先ほど言いますけど 37 ページのところの、
0:21:35	西側については、このですね

0:21:42	この
0:21:44	ごく短周期側の領域ですね、このデータを見た時に、これ専門家等の真野さんも踏まえながらちょっとこのところは、信頼できるかできないのかという議論を踏まえたこれちょっとハッチングになっているということでございます。
0:21:59	規制庁、
0:22:00	そうなんだと掛ける10にした時には西側のところは、この左側塗りつぶされてくるんですね多分ここはもう使えませんっていうのが多分4
0:22:12	言語でございますはい。そうなるという理解する。はい、規制庁菅です。そうなるに合わせて右側の範囲も、要はプロットがない場合も、生データとしてはここはないんです。
0:22:23	後で塗りつぶしておけば、とりあえず、神赤津ブロックの見せ方とは、現象ですね。
0:22:33	案件の方でございます。信頼区間の塗りつぶしについてちょっと整合を図っていきたいと、委託でございます。
0:22:41	はい、規制庁。
0:22:45	ハセガワですけれども、関連して、今の話に関連してちょっといいですか。
0:22:50	はい。
0:22:52	そもそもこのまず、
0:22:56	なんだ、椎野さんだっけ。
0:22:58	椎野さんっていうのは、
0:23:00	何で三つあるんだっけっていう。
0:23:04	玄野本でございます。これは三つのですね、この減衰のこの形の過程を右方に上がったとそれから一定減衰と、
0:23:17	このこの形を仮定して、同定かけた三つのデータが出ているのでそれをそのまま書いているということでございます。
0:23:29	それは、
0:23:32	もともと、
0:23:34	どの形をたどってるかわかんないからどれが一番類似してるかっていうそうそういうことでよかったんだ。
0:23:43	元ノモトでございます。ですね、現実がどれに近いかという思惑はこの段階では、
0:23:53	一旦抜きで、この日にバイリニアとそれから一定と言うのがあり得る形として、このを仮定して、トダテかけた結果と、
0:24:05	いう形とってますすみませんお答えやってるかどうかわかんないんですけれども、多分ね、

0:24:14	あんまり答えてるようで答えてないかもしれないんだけど、
0:24:20	これって、
0:24:22	いやあ、この傾きってどれって求めたんだっけってなるでしょうリニアとかバイデンや、
0:24:28	探しに行ってるんだよね、フィットするやつを。
0:24:32	その通りですはい同定というの、過程の中で、これを決めていけるということになります。そうですねそうするとどれかに絞ってこないといけないよね。
0:24:42	ですね、絞るっておっしゃってるのが、これはでもあれなんですね。衛藤。
0:24:49	日にバイリニア一定はこれは仮定として置いてで、そのそれぞれはい。
0:24:55	そうそう。それで、いろいろ、何て言うのかなイタレーション的にやってるのかこの傾きを変えたりね、何かしてフィッティングさせたんだよね。
0:25:05	そうですね。はい。このぐらいだとそこそこ合うよねっていうのを持ってきた中で、はい。どれが一番いいの。
0:25:13	原電の宇都でございます。この段階で、これだけ見てですねどれが一番いいということ等はこれだけでは言えなくて、
0:25:25	明細表的にはですね、これがどの程度その観測記録をよく再現するかということも見ながら、これ判断していくことに、
0:25:37	なると、ということではあるんだと思います。
0:25:42	うんでどれが一番よかったの。そういう意味ではですねリニアが制限がいいとは言いながらですねどれも比較的再現がよかったというのが、
0:25:52	このデータ素直に見たときの感覚なんだろうというふうには思ってます。
0:25:58	いや、
0:26:00	におけるですね、ちょっと内部の話で申し訳ないですけど、これ、これ見た時にねSIMMER
0:26:08	CⅢは今三つあるがその同定
0:26:11	あるんやけども、
0:26:12	ここ、あるべき地下構造のA-Aだけ見た段階で、
0:26:18	これ屋根というのは、
0:26:20	まとめてないよね今COneC、CⅢcIV5 全部平気だよね。はい。で、これらを
0:26:29	すべて勘案したら結局リリアって出すわけね最後ね、多分。
0:26:33	その時には、えっとですね。
0:26:38	今、S波検層が直接減衰をとった、ダイレクトな減衰のデータになってますんでアノを観測記録の方は観測力をもとに、何ていうんすか処理によ

	ってこれを同定していった結果にはなっているので、それは計算主体の評価になるわけねはいそうですねはい。
0:26:56	ということで、リニアで持っていくわけですねさあ検査の結果が周波数依存性を持つという傾向を見ると、そういう考察はどこどこでするんだということになってくるので、これ読んでへんのか。
0:27:09	どこでするんやという、5まで行かんとせへんのか。うん。
0:27:13	はたまた、6ヶ月分として、どこでそれをするんやというご質問だと思うけどね。
0:27:18	はい。ですね、今私たち考えておりましたのは、4の段階ではこういう形で、生のこの整理の結果をまずお示しすると。
0:27:30	これを12個並べたときに、まず最初に、データの類似性からデータを母集団増やそう、シンプルにした方がよくて、今、椎野さんの話です。
0:27:43	データがいいのっていう等に対して、Cさん所だけじゃなくてC5Cを含めて、減衰どれがよかろうというのは4ポツの話。
0:27:54	うん。ポポツで整理することにしてますっていう、まずはそういうことなんですよね。そうですね。
0:28:01	個別に行ったときに、
0:28:03	もうグループ体っていう考えはなくなって、全体見渡して、どれがいいかっていうのを、そこで一緒にやるんだっていうのが今の資料なんですよ。うん。で提案をまず、
0:28:14	スタンスとしてちゃんと説明して、
0:28:17	です。それで、
0:28:19	管理課どうですかね、そういう話なんですみたいですけど。
0:28:23	うん。いや、
0:28:24	だから、ここで、もともとこれ
0:28:29	何て言うのかな。うん。年末に話したときに、そもそもこれっているんだっけっていう、リニアかバイリニアかぐらいはどっちともつかずだからいいんだけど、
0:28:40	フラットなあ、一律ってやつはどういう意味があるんだろうねっていう、この、この時点でね。うん。この時点ではその講師です。だからわかんないから三つやってみました。三つ親。
0:28:52	で、一番合ってくるパターンがこれですっていう説明だったのがそれはそれでいいけれどもね、まずそれでしかないよねっていうことで、
0:29:02	ということなの。うん。ですかね。
0:29:06	権能でございます。そうですねCさんのこれ三つやってるっていうのは、文献ちいといえますか文献から、その手法を最初総務出してないんだよね。はい。

0:29:22	いやだから三つやって一番あったのがこれですっていう結論ではない、ないのね。
0:29:28	はい、ノモトでございますこの段階ではそうではないです。うん。あともう1個この話でついでなんだけど、減衰が100%超えるってあるんですか。
0:29:36	辨野でございます。それは自然現象としてそうですね。有り得ない話ですね。
0:29:45	でもなんでここに振ってあるの。
0:29:49	案件の方でございます。素行がこれ贈呈結果としてはこういう形では出てくるんだけど、これだからガイソウとしてですね江藤加来とこういうふうな形になってしまうということで、だからこそやはりですね信頼区間の、
0:30:04	記載というのはやっぱり必要なんだろうなというところではございます。
0:30:09	でもさ、これはそれ信頼区間なんか一つもないんでしょ、だって式に当てはめただけですって言うてるんだもん。
0:30:16	はい。県の方でございます式に当てはめただけではあるんですけども観測記録そのものが、持つですねこのDたの、アリオから見て、
0:30:30	この
0:30:32	減衰としての同定結果が、どの、阪急主査ヤスダイデ、話して説明しなくてもいいんだけど併設2月にさ、うん。
0:30:43	こういう話みんな知ってるんだよね。うん。なのに同じのものが乗っかってきちゃってるのが、
0:30:50	気に入ってないというか、
0:30:52	なんで12月に2回ほどやってるんで専門家の話とまず、
0:30:58	何だっけ。
0:31:00	審査会合終わった後に、何かいろいろちょっと余計なもんがあって、その前、時間がなかったからあまり指摘しなかったけど次からこうしようねって話をして、
0:31:10	そのあとに専門家との話をしたんだけど、そういったところが、ほとんど踏まえられてなくてそのまんまなんだよね毎回、
0:31:20	現在ありがとうございます。ちょっとそれ、ものすごく気に入らなくてついでに言うと、一番、すべてのデータが載ってるんで、
0:31:30	後でもいいかなと思ったんだけど今ついでに言うておくと34ページだっけ。
0:31:37	だっけ。
0:31:39	前、32ページだね、全部のやつが載ってて、例えば、C案なんていうのは、
0:31:45	これ何かおかしいと思わない。



0:31:51	これ、長野データとしてこうでしたということだけ、縦軸がさ、ね、なんでさこんなしただけでさ。
0:32:03	こういうのは何か作為的だよね。
0:32:09	縦軸が、これは大きすぎるっていうか室長層、こういうところは100%を超えてたり、干渉法この辺はしょうがないかもしれないけどそういう、
0:32:23	話ね。うん。それから全体が周期で、横軸が周期になってるのに、
0:32:30	29ページみたいになってくるとこれ逆になってくるよね。
0:32:38	だからそういうところがさ、説明しようと思ってるんですかっていうことだよな。
0:32:45	辺見の方でございます。
0:32:47	そうですねこの周期で、さらに地震は干渉法なんていうのは、地震は干渉法のところに隠れちゃってるようなデータがね。
0:32:58	すみません、これ申し上げようと思っておりました申しわけないちょっとこのアノフチセだからね、そういうのをぱっと見ただけでいろいろな人が、
0:33:08	こういうのが、なぜ気がつかないのかってそういうことをずっと言ってきたわけですよ。失礼いたしました。
0:33:16	だから、こういうところがね、何て言うのかな、技術的な絵にしっかりしてるとか、信頼性があるとか、いろんなことが一つ一つだから丁寧にやってくださいねとずっと申し上げている中、
0:33:31	こういうところで押さトガシれちゃうんですよ。はい。
0:33:37	だからなぜ一向にこういう、ある種つまらないことかもしれないけど、つけて見える部分を、ちゃんとなぜ丁寧にやっていただけないのかっていうのが、すごいコウ。
0:33:52	何毎回こう言ってさ、もうな、だんだん疲れてきちゃったんだけど、
0:33:58	そういうところが、今回、明日出てくるのはさとかわかんないけど、ちゃんとしてるんですか。
0:34:04	安全のようでございます。ちゃんとチェック網掛けた上で丁寧にちょっと作って、私やと思います。
0:34:16	はい。すみません。いずれにしろもういやこれ以上言わないということで、それでちょっと今、すみません
0:34:24	ご指摘は理解しましたので次の、先ほどのちょっと戻るんですけども、減衰減衰の、その考察めいたようすみませんササキbut申し上げるなり、
0:34:36	リニューアル増と思ってるんですけどもそのリニアであるといったところを、4ポツで出すのか、5ポツで出すのかといったところのちょっと議論

	まで、まず修正修正してないと思うんでちょっとそこをさしていただきたいんですけども。
0:34:49	ある種、AはAってこういうもんですよと言おうとした場合には、そこは今、すいません三つの四つ四つの試験データ。
0:35:00	岩石の物性値はこれ出てるわけですね非線形もこうやって出てるわけですね。
0:35:05	元するところ今四つのグラフ出してもすっきりほっぽらかしないね今ほったらかしと言うけど、0のところはこれ平気でいけるということをお願いなんですけどちょっと明記はできてないんですけど、
0:35:17	ということで、減衰のの答えというのがない状態で、
0:35:22	次のステップで入って走っていくよね。それを、
0:35:26	5 ポツで、全部見てから決めるのか、若生。
0:35:31	ありがとうございますとですね、ここ、最終的には演習編グループとしてのセンター長の瀬川ですけど、いや、これこないだ話しましたよね。
0:35:48	それカドノたけお話を理解して、
0:35:53	前回だけではなくてこの話もう何度もしてるんだよね。
0:36:00	もう1回、
0:36:02	言うと、まずは
0:36:05	ページの13ページに従ってデータを、
0:36:09	このデータを使ってやりますと言ったらですね。
0:36:13	うん。
0:36:15	だよ。
0:36:16	それはいいですよ、13ページだけ、この辺で言うとね。はい。で、その結果が32ページなんだよね。はい。
0:36:24	38件。
0:36:26	30、になるじゃないですか。
0:36:29	この
0:36:31	その対応関係が12個できるんでしょう。はい。それが4だよ。はい。
0:36:36	だからそれはそこまででまずやりましょうって言ったのがさっきの話で、
0:36:43	現もそういうふうに、はい。
0:36:46	言ってるわけ。うん。じゃないですか。うん。おっしゃる通りですね例えば32ページの、
0:36:52	図が12枚できるんですよこれも前回話したんだけどね。はい。
0:36:57	そうすると、例えばC案だけの、
0:37:00	やはりS波検層のデータだけだけだよ。うん。
0:37:06	うん。見たときに、
0:37:08	結構似てるよねと例えば一番説明しやすいのがC5のS波検層すると。

0:37:15	S波検層の割と中央どこでも似てるよってなると、
0:37:21	今度は強いこのS波検層のデータが増えてくるんじゃないのかっていうだけなんだよね。
0:37:28	このA2、
0:37:30	して、
0:37:32	だから常に12なんですよっていう話をしたでしょ。
0:37:36	最後に、SR件数のデータは、ここイタレーションが入るわけですよ。
0:37:42	他のデータが頭に出るから、このデータ数をふやした方がいいよねって。
0:37:49	なっていくわけですよ。地震観測記録の同定なんてのは、これも1個しかないよねみたいな、RPCは干渉法はもう1個しかないから、こいつはもう動けないんだよね。
0:38:01	で、観測記録も、ほぼ動けないんだよねこれっちゅ地盤だけだからね。3軸圧縮試験みたいなのは多少多少これデータ増えてくるよね。
0:38:14	で、Aっていうのができ上がるんじゃないの。これはだから、タダノ、岩盤物性もそうだしね。うん。ただデータが増えてくるだけよ。
0:38:25	だから次の結果はそれでしかないから、
0:38:30	そうでしょ。はい。おっしゃる通りだと思ってますですね。だからまず、まずそれをやって欲しいんですよ。はい。
0:38:38	そんな時に、基本は中央だったら中央で、
0:38:43	だけでやっていくっていうのを基本にした方がいいよ。
0:38:47	説明がまた大変なっちゃうからね。はい。
0:38:50	それで1回やるよね。はい。
0:38:54	中国のデータの中でだけやるとかね。
0:38:59	だから西とかヒガシを入れちゃいけないわけですよ中央にねまずね。
0:39:06	さらに今度はクソ別な見方としてっていうのはあるんだけど、西も東も見たらこいつ一緒だよねみたいなね。
0:39:20	順番にやっていくっていうだけよ。
0:39:23	後はね。はい。郷はい。
0:39:26	そうすると、今度相変わらず実は強いOneC3C4C5とかっていうのは、四つなんだよ。
0:39:35	はい。
0:39:36	四つかここ五つね。はい。
0:39:40	で、五つは五つなのよ。そして、ただしデータ数が増えてるわけですよ。Aに対して、
0:39:49	突き詰めていったところが最後のデータを使って見るところがそこになるから、

0:39:54	まずそこまで行き着くと。
0:39:56	新たなこの 32 ページができるわけですよ。新たな掲示 13 と。
0:40:02	新たな 30 人ができるわけですよ。
0:40:05	に関してね、
0:40:08	そしたら次に 6 ポツとしようね、面倒くさいからね。
0:40:13	そしたら今度はC1 からC5 のデータを例えば見てみたり、
0:40:20	して、こいつをじゃあ最終的な減衰としてどう見るんだよっていう、減衰委託作るわけですよ。
0:40:28	で岩盤物性もデータ増えた分平均値が変わるわけだから、それ見れば いいしってすぐそういうふうに、
0:40:38	やっていくってことですよ。
0:40:41	だから、Aの結果は、データ数が変わるだけなんですよね。
0:40:47	そして最後に、そのデータ数ができた段階で、まとめ上げるのはCから C5 は、これは 1 択にしないといけないよね一つの減衰という形でまとめ ると、それから、
0:41:00	32 が今度変わって、ABCDってやつだけはできんですよ。
0:41:07	そこまでまず作った方がいいよね。
0:41:10	はい。
0:41:12	わかった。これ前回も言ったんだけど、
0:41:15	すいません
0:41:16	日本語の方です。ちょっとすいません私の理解が足らんで教えてください。 これ、32 ページこれですけども、これがあのさ、12 枚できると、その あと、
0:41:28	を中心に中央にまとめる。それ、もしくは中央っていうか、だから 12 は いつまでたっても 12 なんだよ。うん。10 年最後まで中にですね。はい。
0:41:41	わかりましたセキモデルの中に、
0:41:45	わかりました。最後の中に、はい。
0:41:48	最後まで 12 直、まとめたデータを使ってるから、ナカハタカネコあるん だけど、よくよく見たら、1 から 3 までは全く一緒だったっていうのがあ る。はい。
0:42:00	しれない。はい。それだけ。
0:42:06	わかる。
0:42:07	だから 12 を基軸にしてくださいねって。はい。
0:42:11	それがちょっと病院は立位のままで、そのデータが一緒になるところは それが増えていくだけであると、そういう理解をしております。やっぱりそ んなに気にしなければいいんだよ。

0:42:23	で、この 13、13 から 19 が毎回これがアップデートされていくというか、 そういうかつ、
0:42:30	まだそのイタレーション的になっていくのかな。
0:42:39	うん。
0:42:42	全然。
0:42:44	わからないのかな。引っ張らない。
0:42:46	いや、理解しました。
0:42:49	だからさ、12 個作ったらわかるよまず 32 ページよ、今回。
0:42:56	だからそこから話しすればいいじゃん。はい。
0:42:58	で、
0:42:59	ちょっと、
0:43:01	進む。
0:43:02	作るんやけどもちょっとグラフの縦軸横軸適用範囲とか、合わせなあか んところがちよっといっぱいあるね。
0:43:10	ツボクライワサ当たり前のように、当時そうですねはい。
0:43:14	うち超えてるとかさ、おばさん奴が結果が、結果こうだけど、ちょっと見 せ方を考えないところがないようなところが出ちゃうんだよ。
0:43:25	それ別にね、明日じゃなくてもいいけどね、審査会合までにはちゃんとし て欲しいよね。わかりました。
0:43:35	やるという、まあまあ検層ちよっとごめんなさい。
0:43:40	9 そういうことなんでとりあえずここままで戻します。
0:43:46	はい、規制庁。
0:43:49	当間宇津野。
0:43:51	なんじゃこれって、とりあえずどっか行っちゃったって。
0:43:54	伊奈有井、今田です。
0:43:56	今の今のやつは、はい。
0:44:00	まずもってこないでしょうと。
0:44:03	吉井です。
0:44:08	本当つまり今、今言っていた新たな運行、そのあと奥津の示し方につい て、規制庁下で何か、
0:44:20	はい、規制庁です。4 ポツ 5 ポツ 6 ポツの内容について今管理官から 話があったんで、
0:44:27	4 ポツ
0:44:30	まさに、部長にコウ等々をそろえていただけグループ、
0:44:34	はい。
0:44:35	5 ポツも、ある意味、物に、
0:44:39	近隣のグループのデータを同じと思われるものを細かくそろえていくと。

0:44:45	いうことならばある程度こう機械的にですね、触れることで、はい。4 ぽつぽつの中にグループずつつてのが出てくると。
0:44:54	6 ポツのところで、
0:44:56	ちょっとやっぱり判断が出て、
0:44:59	ねえ。
0:45:01	で、今回の会合でどこまで示せるかんですけども、
0:45:07	前回の、
0:45:09	宮地が、いわゆる 6、6 ポツの、
0:45:13	結果なのか或いは考え方たまでなのかというところ。
0:45:16	そこで作業も含めて、6 ポツまでいけそうかどうかなんですけど、来週、
0:45:24	ちょっと私に気がしていったらあれなんでちょっと 1 回、すいません、4 ポツポツ 6 ポツのそれぞれの表を私の理解させて間違いありますけど、ようこそコントロールしまして、構想段階では、
0:45:38	データ集約できるところを集約して、そのデータの適合表とそれから、それに基づくデータというのはもう一度出てくると、6 物ではそん中で例えば月だった肥後は、まだ 7 号のままになってるんだけれども、
0:45:53	肋骨の段階で、減衰なら減衰を式ちいの絶対結局 as-is の、この一番ホデはどうであるかということをも 6 ポツではゆ、
0:46:03	言うという仕切りだと思んですけどその前提でいきますと、
0:46:10	もともと 6 ポツ全部やりたいなというのを言っておったのは確かでございます。どうぞ、規制庁のハセガワですけれども、ちょっとだけ結構あれすると、
0:46:22	6 ポツの最終イメージ 2 割と近いのが 39 ページ。
0:46:31	そうですね。モデルがあって、
0:46:35	うん。
0:46:36	なんだけど例えば減衰定数みたいなのは、赤岳 1 本になるんだけど、なり、
0:46:44	なんだけど他のデータと一緒に乗っかってたりするっていうことはもうない。
0:46:49	オダ 1 卓だから。うん。そうですね、これ。
0:46:53	なるわけですよ。
0:46:57	わかります。はい。わかります。
0:46:59	D グレーのラインがいっぱい入ってるんだけど、
0:47:03	途中はあるんだけどまとめね、6 ポツのまとめはこれだ子、これが次のモデリングに入るだけだね。はい。
0:47:13	成長をカナダの最終出口みたいな。
0:47:17	そこは多分大丈夫で、

0:47:20	濱崎さんが気にしてることと、野本さんの答えという。
0:47:27	多分、6 ポツのこれいけますかっていうと、多分いけますけど、いや、
0:47:31	今のこの資料作ってる時点ではいけるんですよ
0:47:34	なんでかっていうと、今書いてある、現状の歩Ⅱのロジックでいうと、原燃はいけるっていうはずだ。
0:47:43	うちは今書いてあるコウつってすごい払いなんてやり方すごいやないでしょう。こんなやり方じゃ、39 ページの赤線 1 本にし、到底、たどり着けませんよねっていう、思っているからそういう認識で、
0:47:57	どこまでこの赤尾とか可児特定できるところまで話が聞けるかなっていうのが、ハバサキさん。
0:48:04	懸念だと思ってやるか。
0:48:07	はい。
0:48:14	案件の宇津でございます。
0:48:18	そうですね、結局、
0:48:21	まとまんやろ。
0:48:24	え。
0:48:28	これもね、これも最後、
0:48:31	まとめるときに、
0:48:34	応答を見て、一緒かどうか判断するっていう、えーとですね、
0:48:39	今、幾つか話があって、ですね、確かにですね、そう、データまとめる検討をしようとするときに、今ここでお示しできてないのか。
0:48:51	ポツの岩盤部分の物性っていうのは速度構造を見てるねと言いながら、これこれがですね応答。
0:49:00	スペクトルで、この類似性についてのまた検証を行うというステップが必要であって、それが今回示さない議会ですという話になっていると、いうことを踏まえると、そういう意味で最終の 6 ポツに行き着いていないと。
0:49:15	いう、そういう認識を我々も持っていますから、ですので今回そうですね 6 ポツを出すにしてもそれは特注段階のものでしかなくて、5 ポツ、
0:49:26	呉は、そのオオバコウセンナを検証が残された状態のものが今回お示しできるものと、うん。うん。一方減衰定数については、これはシミュレーションまで衛藤、いや、
0:49:39	前にもちょっと分析した結果でお示しするようなもので、今回ご提起できるかなと我々考えているところと、ということなので、そういう内容で、もうちょっとご確認いただくと。
0:49:50	というような道を持っておりました。
0:49:53	見抜ける結論から言うと、6 ポツが完成するかっていうのは、すいません、追加しました。

0:50:02	期せちゃう。そうすると、6 ポツとしては、例えば、だけでもいいんで、
0:50:09	減水コモリ本だとか、或いは岩盤についてはこういうふうにしたい。ただそれについては、音スペクトルなり伝達関数の一つで判断をしますと、方針的なはい。
0:50:22	そこまでですかねそうですねはい。はい。
0:50:28	規制庁天田です。それはある意味、前回のヒアリングの
0:50:34	次回の会合のエンドウっていうか、目標の、いわゆる具体化になったものというふうに思いますんで、
0:50:43	それが来週、はい。
0:50:45	間に合うならそれまではいいかなと私は思いますが。はい。失礼。
0:50:51	すいません六ヶ所側それ認識合ってますね。私こういう認識で思ってますけれども、
0:50:58	期間をイワサ、
0:51:00	アサノ
0:51:01	そうそう
0:51:13	じゃ、いつでも、もうあんたそういう認識でいい。
0:51:18	藤イセちゃオオキです浅尾管理官以下ですかさっきの4 ポツとにかく愚直に、5 ポツについても、近隣のものを含めてこれもデータを集約するだけでやって12 グループの結果が出ると。
0:51:34	6 ポツに関しては、
0:51:37	4 ポツ 5 ポツを踏まえて、例えば減衰はこういうまとめ方にしますとか或いは岩盤物性についても、近隣も含めて、
0:51:47	7 日或いはこういうまとめ方にしますと、ただその検証については、今回は出ませんけれども、伝達関数なり、応答スペクトルで評価をして、
0:51:58	次回に説明をしますというところまでが今後、今回、次回のですね、会合、
0:52:05	のを、
0:52:07	一つの区切りだというふうに、
0:52:09	こちらとしては考えたんですけども、
0:52:12	いかがでしょうか。規制庁の長谷川です。大体そんな感じで結局、多分、前4 ポツは部長本当に愚直呉で、5 ポツで、
0:52:26	議論をどれぐらいす。うん。
0:52:28	一部議論が入ってきちゃう可能性があって、今まで出たデータ通りでまとめる。これは誰が見ても類似いいよねみたいなので、
0:52:41	その部分までは、
0:52:43	多分ほぼ議論なくて、大体その辺は我々もわかってるんですけども、
0:52:50	今日みたいにここの資料みたいに、西塔。



0:52:55	中央とまぜたり、あとは、そのあとに、ちょっとこれ違うんじゃないかみたいなところを、一緒ですって言ってやってきたりする場合はそこで議論が終わるので、
0:53:08	その辺りがどこでやるかっていうこれ原燃の一つの判断だと思います。ただその判断がそこで良しとすると、
0:53:18	そのまま6ポツっていうのは、
0:53:22	5ポツでまとめたデータを、さらに、
0:53:26	全体を見通して、やるだけなんで、ある種、
0:53:32	そんなに、こんなもんかねっていうぐらいになると、いうそういうことかなと思うんでむしろ5歩つか、
0:53:44	の方で論点が出ちゃう可能性があるけどそれはそれで議論しましょうかというそういうことでいいですかねそれが減免は、
0:53:54	そんなに集約しなくて、5ポツっていうのは誰が見ても一緒だよっていうふうになれば、
0:54:01	6の最後は、最後はね6ポツまでいければいいけれどもね。うん。結局同じかな、5ポツで、
0:54:09	何か残っテロップでも残ると。それを、
0:54:13	理事会にやるっていうそんな感じになるんですかねちょっと僕は5ポツも、
0:54:19	原燃次第では、
0:54:21	議論が出てきちゃうのかなっていう。そんな限りです。はい。しちゃうわけですおっしゃる通りでまだ5、5ポツの具体的な情報って出てない。見てないで、
0:54:31	空中戦でやっている限りでは、
0:54:35	何となく共通認識になってるんですけど実際物を見てみないとですね。
0:54:39	これ本当に、
0:54:41	一緒とみなせるのとかですね、いろんな課題が出てくると思いますので、ちょっとそれを5ポツを見てから、もしかするとここ通で紛糾するかもしれないというのは、確かにおっしゃる通りです。
0:54:54	いずれにしろ、まず4ポツ、ちゃんとやってもらって5ポツをやってるっていうふうに、結局、成り行きでしかないから、
0:55:05	そしたら、論点があれば議論すればいい、いいというそんな感じかなと思いますけどまずやることは、まず4ポツちゃんとやって、5ポツを原燃の考え方に沿って、
0:55:16	まとめてね。そっからそのあと話しましょうか。はい。規制庁、おっしゃる通りだと思います。
0:55:30	うん。規制庁狩野です。大体。

0:55:34	話は、
0:55:35	出たかなと。
0:55:37	いますけど、
0:55:39	そろそろスケジュールの話をしますか。
0:55:43	どうしようかな。
0:55:47	一応明日資料も出てきて、
0:55:52	金曜日、
0:55:54	また月曜日 3リバイスあってたよ。
0:56:00	ことになっていて、
0:56:02	とはいっても今今日の話の踏まえると、今準備しているものは、結構ずれて、
0:56:11	でしょ、出したい。
0:56:13	要は、普通は多分、サンポという、一つは、そうですね。
0:56:20	5 歩IIについては、作っていないCでコマツのタダ結果だけ並べるんじゃないかと、まずこういう考え方で、5 ポツでこんな作業しますという説明が 12 ページで、
0:56:31	その結果ポツのそれ 12 グループ、
0:56:35	何時にあるんだろう。
0:56:37	いう。
0:56:38	有井、六方津は手が届けば、
0:56:42	までだとしても、明日出せますか。
0:56:46	明日は日本に来てください。明日はアノ 4 歩数は
0:56:51	まず、10、12 出したいなと思っておりまして、5 ポツの考え方とかいったところが明日出して、
0:56:59	議論に耐えるものが出せるかというところとちょっと、
0:57:02	ただ、考え方の 1、先ほどちょっと原燃の考アノアライよねっておっしゃっていただいたところの 36 ページ 37 ページの、
0:57:12	さて、30、
0:57:14	4 ページからあれですね、37 ページまで入ったかな。
0:57:20	のところの、
0:57:22	議論もそれなりにちょっと
0:57:27	具体論として、アライっておっしゃってるところの、
0:57:34	ご懸念の話なんかもユリちょっと議論させていただきながらちょっとやっていたらというふうに思います。すいません今あるコウツのその話っていうのもなくなるものと勝手に思ってたんですね。
0:57:48	企業としてはハヤシダじゃそもそも考え方として挙げて、はい。
0:57:52	もしそれを、

0:57:55	今度の6ポツでも、使うって、今ここに決めてんだったら今日お話聞きます。
0:58:02	やはり、いや、今までまず10名中10グループ、
0:58:08	をまず出す。
0:58:10	というのが、
0:58:11	第一次でやらんとあかんことやから、
0:58:13	ようこそあれですはい。で、5ポツやるのは類似性の議論をしなきゃいけないと。
0:58:20	いうときに、今みたいに12グループでちゃんとやろうねではなくて、
0:58:27	考え方かなあかんから、規制庁亀井です。中に並べてるとか、それからよく並んでほしいとかっていう次元じゃない。
0:58:35	そもそもその10日何でしたっけ。
0:58:38	宇井です。10日VSなるものの、とりあえず実績から説明します。こういうところでこういう考え方で類似性を判断してます。そんなのはよくある話なんですよっていうところがお茶をまず話しても、
0:58:57	規制庁、要は、34ページで、等価Vsの概念で12グループを横並びにして区分けしてるんですけども、これカトウサトウかVSっていう概念ってどういう
0:59:11	目的でこんなもの持ってきたのか、当然10日ふやして、
0:59:16	その上としたそうな人だったら、うん。
0:59:20	Vsが、
0:59:21	逆転してても、どっか別って一緒になっちゃうじゃない。波動伝播ってそういう問題ないですよ。うん。
0:59:27	そこら辺も考えた上で、こういうものだった。はい。
0:59:31	非常に遊んで、乱暴だっておっしゃってるのは、すいません、ご理解いたしました。だから、はい。明日を出せる、俺は出せないということで、明日はまず、
0:59:41	4出して。はい。ヒアリング。
0:59:45	26日にそれを事細かにヒアリングせなあかんか言うたらそうではない、ないんだと思うんです。日本は出すだけです、
0:59:53	間に5一懸命考えて、
0:59:58	月曜日に出すというのが、
1:00:01	どこかなと思います。はい。
1:00:03	規制庁浜崎です。確かに、
1:00:05	方はいろいろちょっと非工夫が必要なんですけども、

1:00:09	基本はやっぱり、近隣のグループの岩種であったり、減衰だとかそういう物性値ですよね物理定数を見て、いやこれとこれは一緒と考えられますとかですね。
1:00:21	まだやっぱり出してこない。やっぱり断層張っちゃうと違うわけなんで、これとこれはやっぱ、一緒とは考えませんと思うんです。
1:00:31	そういうグルーピングなんで。うん。そんなに、5 ポツの分類の何ですかね、考え方というのは、難しいものではないと思いますので。はい。
1:00:46	はい。
1:00:51	はい、佐瀬です。
1:00:54	うん 4 ポツ、
1:00:56	だけでも、はい。12 個並べば、
1:01:00	金曜日の段階で、この特例を一緒だと思ってますよぐらいの話が聞けるし、そうなると、スポーツ学科、
1:01:09	慣習的、まず、そこまで 8 ページで、はい、お願いします。
1:01:15	よくわかんないんですけど。
1:01:17	特価Vsはとりあえずまだ捨てないってことだったんと、いや、ちょっと蒲生って書いてください。仙波店。多分、後手に 4 ポツを作りこ作っていくとこんなプロパチェックの方法じゃなくても多分、
1:01:32	ていうのがまず、きっと件数がどうか。
1:01:37	うん。ということなんであまりほぼピックアップしたいと思ったら、
1:01:43	デマチ 4 ぽつぽつという形ではい。はい。
1:01:46	はい、ありがとうございます。
1:01:50	藤規制庁、小峯さんほか、
1:01:53	全般として何かありますか。吉川です。ちょっと今日の話で飛ばされちゃったんですけども、
1:01:59	資料でいうと 9 ページ。
1:02:04	11 ページからは岩石コアの話ですよ。
1:02:08	それから表層の話と、その利用増加処理も含めてなんですけど、こら辺は今回は初出始めて、
1:02:18	岩石コアは、今回収集ツールですねはい。表層のところはこれは握手を言いますよりは後のデータを前に持ってきて整理の仕方があったっていうさうい、
1:02:30	規制庁、例えば 10 ページに書いてあるW1W2っていうのは、はい。12 月の段階ではなくて、それはそうおっしゃる通りそれは正しいです。はい。ただ、そういったところはしっかりと説明。
1:02:43	はしてください。はい、わかりました。
1:02:49	はい。以上です。はい。

1:02:51	成長かみさんよろしいですかね。
1:02:54	これから作業もあると思う。ヒアリングがこれで終了しております。
1:02:59	じゃどこと一緒。どうもありがとうございました